

KODAK
LICENSED PRODUCT

© The Tiffen Company, 2000

KODAK Color Control Patches

Blue 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 B 13 14 15 17 18 19
Cyan 2 3 4 5 6
Green 4 5 6
Yellow 8 9
Red 10 11
Magenta 12 13
White 14 15
3/Color 17 18
Black 19

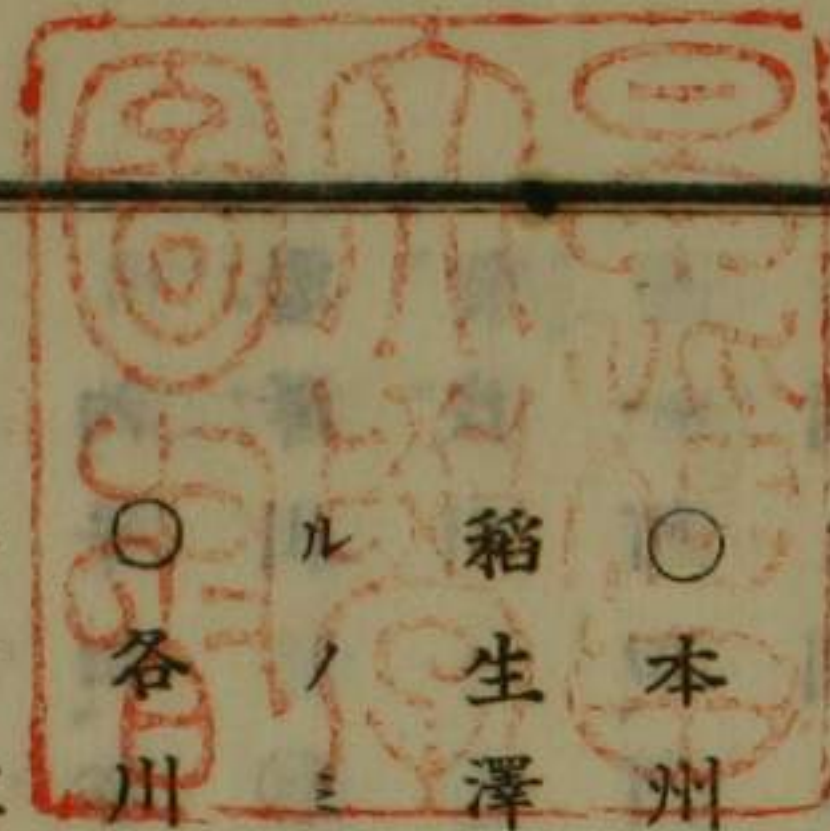
增訂豆州志稿

卷之六

ル 4
291
8



明名
號 291
卷 8



增訂豆州志稿卷之六

秋山 萩原正夫 增訂



川漢
○本州ノ諸川狩野川ヲ最大トシ賀茂川那賀川川津川
稻生澤川手石川之ニ次ク其他概々溪澗ノ細流ニ過キサ
○各川溪率溝渠ヲ穿テ灌漑ノ用ニ供ス故ニ間源大ニ
シテ末小ナルモノアリ
君澤郡
界川 ○三國山下曾利沼ヨリ發スル龍澤大澤山曾武沼ヨ
リ發スル大澤ノ二水相會シテ伊豆佐野村北西ヨリ幸原

增訂豆州志稿卷之六

川漢

一

增訂豆州志稿

卷之六

秋山 萩原正夫 增訂

三島 榮樹堂藏梓



村南西ヲ流レ豆駿國界ヲ爲シテ狩野川ニ達ス故ニ界川
 ト名ク又幸原村ヨリ分レテ東南ニ流ル、ヲ賀茂川ト云
 記ス近世界川決シテ皆賀茂川ニ落ツ故ニ流水枯竭シ千
 貫樋ノ邊ヨリ細流アリテ玉川池ニ入り復出テ、玉川堀
 内、平田、松本、諸村ヲ過キ長伏村ニ至リ狩野川ニ注ク
 蟹澤川 ○佐野村ニ在ル小溪也界川ニ入ル
 賀茂川 ○界川ノ分流ナリ見上ニ今訛リテ神川ト呼フ徳倉
 一町田、河原、谷、谷田、中村、北澤、多呂、諸村ヲ過キ大場、中島、兩
 村ノ間ニ至リ大場川ト云以下小舟ヲ通ス可シ中島村下
 ニテ梅名川ト會シ新川ト呼フ御園村ニ至リ狩野川ニ入
 宮川 ○徳倉村ニ在リ賀茂川ニ入ル以下新田川ニ至ルマ
 ル

テ皆賀茂川ニ入ル
 賀古川 ○山中新田ノ山中ヨリ出ツ小流ナレ氏笹原新田
 ヨリ以下飲料皆之ニ頼ル
 小澤川 ○竹倉村ニ在リ
 新田川 ○谷田村ニ在リ
 櫻川 ○三島驛ノ北菰池ヨリ發シ南流シテ祓戸川ト呼フ
 其水清冽ナリ同驛及中島村ノ水田ニ灌溉ス
 御殿川 ○水源上ニ同シ三島驛久保、小中島、兩町ノ間ヲ南
 流シ寧樂橋上ニテ四宮川此川ハ廣瀬池ヨリ發シ大ヲ合
 中島、小中島ノ間ヲ流ル
 七青木、鶴喰、八反畑、諸村ヲ過キ梅名村ニ至リ梅名川ト云
 廣瀬川 ○三島驛小濱池ヨリ出ツ下流十三村ノ灌溉ニ供
 ス其一派ノ溝渠ヲ君澤ト云其名古シ

曾下川
 川集

桂川 ○又修善寺川ト云修善寺村達磨山下弘法入大柴入ヨリ發スルニ水相會シテ東北ニ流レ小立野村ニ至リテ狩野川ニ入ル中流及兩岸ニ温泉湧出スルヲ以テ湯川トモ呼フ増此川ニ錦襖子ヲ産ス夏秋ノ候晚晴ニ乘シテ鳴ク其聲清亮愛ス可シ又水源ノ谿間ニ山椒魚ヲ産ス

大澤川 ○舊名額澤大澤村田川ト云處ヨリ發シ堀切村ニ至リ堀切川又山田川ト云以下ヲ小室川ト呼フ狩野川ニ入ル

小關川 ○長瀬村山中ヨリ出テ小坂村ヲ經テ狩野川ニ入ル

重須川 ○村名ヲ以テ名ク是レヨリ以下東寺川ニ至ルマテ皆海ニ入ル

河内川 ○亦村名ナリ上流ヲ大瀧川ト云木負ニ至ル

西洞澤中澤 ○久連村ニ在リ増西洞澤今久連川ト云

堂庭澤 ○立保村ニ在リ増今立保川ト云

古守川 ○村名ヲ以テ呼フ

中川 ○久料村ニ在リ

西澤中澤東澤 ○江梨村ニ在リ

鬼川 ○戸田村ニ在リ今大川ト呼フ源ヲ山中ニ發ス

分流陣好川道流川ハ灌溉ノ便アリ

大川 ○小土肥村ニ在リ

大川 ○土肥村ニ在リ赤澤其水硫黄礬石ノ氣アリテ砂

泉澤藤澤葛蒲平等ノ小溪合流シテ此稱アリ

大川 ○八木澤村ニ在リ舊名中島川要山ヨリ發ス

東寺川 ○小下田村花澤ヨリ發ス又東川清水川水神川等

ノ小流アリ

田方郡

狩野川 ○源ヲ天城山中、水生池ヨリ發シ北流シテ湯ヶ島村ニ至リテ湯ヶ島川ト云湯ヶ島村山中ニ又一源門之原村屬里持越ヨリ出ルヲ持越川ト云金山ニテ金山川稱兒越ヨリ發スル猫兒川ヲ合セテ湯ヶ島川ト會ス以下ヲ狩野川ト稱ス狩野郷諸村ヲ過キ加殿村ニ至リテ大見川ヲ合以下舊稱瓜生野村ヨリ以下概田方君澤ノ郡界ヲ流通シ大仁、吉田、三福、神益、田中、南條、中條、寺家、四日町、原木、肥田、塚本、御園、長伏、諸村ヲ經テ駿州駿東郡ニ入り黃瀬川ヲ入レ沼津ニ至リ海ニ朝ス和漢名數ニ日本ニ是州中ノ最大河ニシテ長大約十里、廣中流以下六十間、乃至七十五間、

大仁村邊ヨリ以下舟筏ヲ通ス可シ沿岸諸村灌漑ニ便スト雖年々水害ヲ蒙ル少カラス香魚、鯉、鯽、鰻、鱧、等ヲ産ス支川ノ差大ナル者大見川、桂川、大川、賀茂川、界川豆界等トス増天野郡澤白山堂郡田方兩村ノ間、狩野川ヲ堰キテ南北江間村ノ水田凡貳百町歩ノ灌漑ニ供ス石堰延長九拾五間、高九尺、敷幅拾間、之ヲ江間堰ト稱ス溝梁ハ天野長四村ヲ經テ南江間村吉城寺ノ地ニ到ル長參拾町拾貳間、敷幅六尺、初四尺、寛文九年六月、明曆元年、代官伊奈兵藏支配ノ時、村人石井清兵衛、津田六郎、等出願シテ、官費ヲ乞ヒ鑿通セリ、爾來官氏兩費ヲ以テ修繕ヲ爲シ、總テモ明治九年ニ至冷川 ○田代村山中ヨリ發シ桑原村南ヲ過ク東鑑ニ出ル早川即是也ハヤハハココレ北條宗時戰死ノ處部墳墓桑原川 ○一名前川又内源ヲ箱根山中ニ發シ大竹村ニテ

冷川ヲ合セノ故ニ稱アリ上澤村ニ至リテ上澤川ト云之ヨリ
溝渠ヲ鑿チ分水シテ平井、大土肥、仁田、間宮、塚本、大場、諸村
ノ水田ニ灌漑ス溝渠ノ最ナル者仁田村北ニ其餘水、大土
肥村ニ至リ大土肥川ト呼ヒ仁田村ヲ過キハ橋上ニテ鈴
川ト會ス

大川 ○源ヲ田代村ニ發シ輕井澤村ヲ經、丹那村ニ至リテ

二三ノ小溪ヲ合セ平井村南ニテ松澤ト會シ松澤川ト云

畠毛、柏谷、兩村ノ間ヲ過キ長崎村ニ至リテ長崎川又鈴川

ト云肥田村南ニ至リ前川ト云狩野川ニ入ル

桂川 ○金谷村山中ヨリ發シ多田村ニ至テ荒龜川ト名ク

極テ小流ナリ

鴨川 ○中村ノ山中、舟洞ヨリ出テ西流シテ田中、塘ニ注ク

細流ナレ氏民利多シ

鳴瀧川 ○南條村ニ在リ

深澤川 ○舊名福澤、源ヲ浮橋村池、山ヨリ發シ上流ヲ大子

神川、世呂千川ヲ合セ下畑、田京、兩村ヲ經テ狩野川ニ入ル

○此以下松澤ニ至ルマテ皆狩野川ニ入ル

田鶴川 ○大平柿木村山中ヨリ發シ東北ニ流レテ柿木村

ニ至ル

船原川 ○上船原村山中ヨリ出テ下船原村ヲ過ク

古渡川 ○一名吉奈川、吉奈村棚場山ヨリ發シ東北ニ流レ

門之原村ニ至ル

澤尻川 ○門野原村ニ在リ

長野川 ○湯ヶ島村長野ヨリ出テ市山ヲ過ク

龍入川 ○湯ヶ島村山中ヨリ出テ市山ニ至ル

北澤 ○田澤村山中ヨリ出ツ〔以下矢澤ニ至ルマテ皆小溪

也〕

南澤 ○矢熊村ニ在リ

武田川 ○雲金村ニ在リ

檜澤。松澤。 ○佐野村ニ在リ

矢澤 ○加殿村ニ在リ

疾川 ○源ヲ長者原ノ鬢鹽池ヨリ發シ年川村屬里上和田

ニ至テ上和田川ト呼フ其以下ヲ疾川ト云大見川ニ入ル

小川 ○田原野村ヨリ發シ大野村ヲ過キ相久保村屬里小

川ニ至テ狩野川ニ入ル

賀茂郡

大見川 ○三源ナリ一ハ萬城、東笠、二降下ヨリ發スルニ漢、

管引村山中ニテ谷流シテ管引川又東川ト云原保村ヲ經

テ中川ト會ス一ハ天城山北ニ發シ皮子澤ト云ノ山中砂石

流スル筱場村ニ至リ大嵐川又西川ト呼フ貴僧坊、姫湯、戸

倉野、諸村ヲ過キ中川ト會ス一ハ地藏堂村山中ヨリ出テ

山中ニテ垂川又中川在ルヲ以テテリト云西流シテ

原保、戸倉野、ヲ經、西川ト會ス柳瀬村以下大見川ト稱スハ

橋、城、關野、上下白岩、相久保、諸村ヲ過キ加殿村下ニ至リテ

狩野川ニ入ル〔地水産香魚ノ鼻曲、香魚ト稱鰻、鮫、魚、アリ

御堂川 ○下白岩村ニ在リ一名白岩川、水窪嶺ヨリ出テ疾

川ニ入ル

小川 ○上白岩村山田ノ不動瀧ヨリ發ス又上小川ヲ

横山川 ○城村山中ヨリ發シ西流シテ關野村ニ至リ堰澤

川ト云上白岩村南ニテ大見川ニ入ル

梅木澤 ○梅木村ニ在リ大見川ニ入ル

宮澤 ○八幡村ニ在リ一名水口澤、大見川ニ入ル

木橋澤 ○冷川村廣口山ヨリ出ツ細流ナレト水清クシテ

寒列骨ニ徹ス冷川ノ村名之ニ因ル徳永川ニ入ル

冷川 ○徳永村山中ヨリ出ル徳永川、宇佐美嶺下ヨリ發ス

ル下小野川ノ二水相會シテ此稱アリ柳瀬村ニ至、テ東川

ト呼ヒ大見川ニ入ル

門川 ○一名千歳川又界川 ○伊豆山村ノ北ニ在、テ豆相國

界也往昔走湯權現ノ祠門此ニ在リシ故門川ノ稱アリト

云或云本州へ入ル門ノ義ナリト此川三源アリ其二ハ相

州宮上村山中ヨリ出ツ其一ハ日金山ヨリ發ス西澤又日金山

此三溪相合シ南流シテ海ニ入ル

藍染川 ○伊豆山村ニ在リ小溪也又同村東谷ニ勾當川ヲ

リシモ今枯竭ス

鳴澤 ○同村走湯權現ノ東北ニ二溪アリ前鳴澤、向鳴澤ト

呼フ共ニ細流ナレ共後人以テ萬葉集ニ出ル奈流左波ニ

當ツ萬葉集ノ歌ハ山岳部日金山ノ條ニ記ス又北村季吟萬葉註ニハ奈流左

波ハ走湯ニヤトアリ或云熱海温泉沸騰ノ時ハ其音雷ノ

如シ是即奈流左波ナル可シト共ニ此ニ附記ス

絲川 ○熱海村ニ在リ上流ヲ宮川ト云日金山下ヨリ出テ

南流シテ海ニ入ル

○以下瀕海ノ川澤率海ニ注ク故ニ他水ニ會スル外ハ一

々之ヲ録セス

初川 ○同村鷹巢山ヨリ發ス上流ヲ入川ト云

和田川 ○同村和田山中ヨリ出ツ

大川 ○上多賀村山中ヨリ發シ南流ス

宮川 ○下多賀村山伏嶺ヨリ發ス

水神川 ○同村和田木嶺ヨリ出ツ又中川鐵冶川アリ

宮川 ○宇佐美村生佛水窪二嶺下ヨリ發ス

烏川 ○同村龜石洞ヨリ出ツ又中川アリ

界川 ○宇佐美湯川二村界ノ細流

湯川 ○湯川村ニ在リ村名ノ起因也○源ヲ火打山中ニ發

シ村北ニ至リテ踏鞴澤ト名ク織屎出ツ昔時阿武丸ヲ造

村中ニテ二派ニ分レ北流スルヲ湯川ト稱ス温泉水中ニ

浦クヲ以テ也下流ニ猪アリ傳テ阿武船ヲ造リシ處ト云

松原川 ○東笠峰下ヨリ發シ和泉川ト呼フ柏嶺ヨリ出ル

漢水ヲ合セ十足萩二村ノ西ヲ過キ鎌田村ニ至リテ

乃き淵ト爲ル又蜘蛛淵思フ源武衛ノ子千鶴ヲ沈メシ

處也團真本智我物語曰伊東次郎助親候一其三人出來

佐殿大喜御名被呼千鶴御前云々助親大瞋証寄若宮下知

若黨二人雜色二人各々相構此幼者伊藤莊尋松川奥付沈

石沈岩倉瀧山蜘蛛淵三歳若君無何意佐幼勞氣渡物封手差

遺松川奥悲ト同假字本ニ云若君誘ヒ出タシ松川ノ奥ヲ

衰記ニハ松川ノ奥白龍ノ底ニフシ奉ケリト源平盛岡

村ニテ大川ト云無川又美村音無杜ノ邊ニテ音松原村ニ

テ松原川ト稱ス往昔ハ總テ松川ト云語源平盛衰記等ニ

見海ニ入ル處ヲ大川口ト呼フ源長三里拾八町幅下流拾

五間許香魚鰻鱺鮭魚等ヲ産ス

寺田川 ○一名小川、岡村片倉山ヲ出テ松原川ニ注ク
 唐人川 ○竹内村湯田ニ發シ和田村ニ至テ此稱アリ昔唐
 船此ニ漂着セシヲ以テ名クト云細流ナレト異魚ヲ産ス
 逆川 ○千首坂ヨリ出テ岡村ヲ經流ス
 八幡野川 ○八幡野村ニ在リ
 赤澤川 ○赤澤村ニ在リ砂石皆赤シ故ニ名ク村名亦之ニ
 因ル源ヲ東笠峰下ニ發シ幕山澤ヲ合ス
 草埜川 ○大川赤澤二村ノ間ニ在リ
 大川 ○大川村ニ在リ源ヲ東笠峰下ニ發ス村名之ニ因ル
 當川 ○奈良本村山中ヨリ出テ石莒川ヲ併ス上流ヲ濁川
 ト呼フ
 白田川 ○村名ニ因ル源ヲ天城山ニ發シ南下五里許頗急

流ニシテ山水少ク漲レハ巨石ヲ漂ハス○沿岸村落年々
水害ヲ蒙ル少キ
○此川硫黄氣多キ
○以テ魚虫ヲ生セ
 又小澤川ハ片瀨村山中ヨリ出テ天目山下ニ至リ白田
 川ニ會ス
 大川 ○稻取村大畑山ヨリ出ツ又賤間川同山ヨリ出ツ
 田尻川 ○見高村大迫間山ヨリ出ツ
 脊戸田川 ○同村虎回山ヨリ出ツ
 川津川 ○天城山中ヨリ發スル天城川、萩乘ヨリ出ル萩乘
 川ノ二水山中ニテ相會シ梨本村ニテ東ニ折レ大鍋村ニ
 至リテ川津川又大ト呼フ以下東南ニ迤邐トシテ湯野下
 佐野、筏場、澤田、田中、笹原、諸村ヲ經、谷津村ニテ海ニ入ル蓋
 下流舟筏ニ勝タルヲ以テ川津ノ稱アルナラム○一説ニ
川津ハ

錦^カ襖^ハ子^ニヨリテ起^レ 増長大約五里、幅中流以下廿五間、浴川ノ村落頗灌溉ノ便アリ香魚、鮭魚ヲ産ス

奥原川 ○一名和泉川、梨本村奥原山中ヨリ出テ和泉ヲ經テ天城川ニ入ル

大鍋川 ○大鍋村ニ在リ天城山中ニ發シ天城川ニ入ル

小鍋川 ○小鍋村ニ在リ天城川ニ入ル

大群川 ○湯ヶ野村大群山ヨリ發シ川津川ニ入ル

○此以下谷津川ニ至ルマデ皆川津川ニ入ル

佐ヶ野川 ○天城山ヨリ出テ佐ヶ野、後場二村ヲ經

寺澤 ○澤田村林際寺山ヨリ出ツ

鍛冶澤 ○峰村ニ在リ小川ナリ出^{鐵屎ヲ}タス

谷津川 ○谷津村ニ在リ

菖蒲澤川 ○一名櫻澤川、繩地村山中ヨリ出テ濱村ニ至ル

繩地澤 ○一名前川、繩地村白坂ヨリ出ツ

小繩地澤 ○一名後川、同村北ヨリ出ツ又小澤アリ

逆川 ○源ヲ小切太山ニ發シ逆川村ヲ過キ西南ニ流レ北

野澤川ト爲ル逆川、北野澤、二村ノ名之ニ因ル茅原野村ニ

至テ茅原野川ト呼フ箕作村ニテ稻生澤川ニ會ス里俗云

川津川東南ニ順流ス此川西南ニ向テ逆流ス因テ逆川ト

稱スト又八木山、坂戸、蟾蜍ノ三溪、茅原野川ニ流入ス

須郷川 須原村須郷ニ在リ○登龍山ヨリ發シ南流シテ

茅原野川ニ入ル舊名須川 須郷ハ須川ノ轉訛也○須ハ

云須野川ハ次川ノ轉ニシテ此川 須郷多キニ因テ名ク 須ハ

鳴澤川 ○宇土金村ニ在リ亦茅原野川ニ入ル

稻生澤川 ○二源アリ一ハ加増野村婆娑羅山ニ發シ一ハ

同村大群山ニ發ス各山名ヲ以テ稱スニ水相會シテ相玉、箕作ヲ經、

東南ニ流レテ落合、河内、立野、本郷、中村等ヲ過キテ下田ニ

至リ海ニ入ル立野村以下扁舟ヲ通ス増長大約五里、幅下

流四拾五間、沿岸ノ村落頗、灌溉ニ便ス水産香魚、石斑魚、鰻

鱺等アリ支川ノ差大ナル者ヲ逆川、大澤川トス

千口川 ○横川村八九寸、山中ヨリ出テ稻生澤川ニ入ル

○此以下式根川ニ至ル迄皆稻生澤川ニ入ル

横川 横川村ニ在リ村名之レニ因ル

滑川 ○北湯野村ノ西北、嶮、山中ヨリ出テ滑川水ニ因テ名

ニ至テ稻生澤川ニ激衝シテ合流ス

舵川 ○相玉村山中ヨリ出ツ又宮澤ハ酸漿山下ヨリ發ス

藤原澤 ○同村藤原嶺下ヨリ發シ北流ス

荒井澤 ○同村休津嶺下ヨリ發シ荒増村ニ至ル

大柴澤入澤 ○共ニ堀之内村大鐘山ヨリ出テ城山ヲ夾流

セル小溪ナリ

長窪川 ○落合村白坂嶺ヨリ出テ同村奥野ヨリ發スル奥

野川ト會シテ西流ス

藤原川 ○蓮臺寺村ノ小溪也

大澤川 ○大澤村石澤ノ奥ヨリ發シ東流シテ山條川ヲ合

セ蓮臺寺村ニ至テ小堰川ト呼フ

式根川 ○本郷村式根山ヨリ出ツ

彌治川 ○増下田町岡方ヨリ出ツ

柿崎川 ○柿崎村ニ在リ

穀不見川 ○白濱村ニ在リ諸川率^ニ溉田ノ便アリ此川獨^リ徒^ラ

ニ流ル故ニ名ク又小根澤、宮前澤、下川、等小溪アリ

吉佐美川 ○舊名多々美川、大賀茂村ニ發源シ吉佐美村前

濱ニ至リテ海ニ入ル

吉佐禰川 ○同村吉佐禰濱ヲ漫流シ龍宮窟ニ入り海ニ至

ル細流ナレト頗佳趣アリ

山神川 ○田牛村山神野ヨリ發ス

手石川 ○青野村山中ヨリ發スル奥山、棚場ノ二川合流シ

テ青野川ト爲リ上下小野、兩村ノ間ニ至リテ小町川ト名

ク東流シテ岩殿、石井、上賀茂、加納、下賀茂、諸村ヲ經、南折シ

テ日野川ト云手石村ニ至リテ村名ヲ以テ呼ヒ海ニ注ク

石井村以下小舟ヲ浮フ可シ(増)長大約三里拾八町、幅下流

三十間、水産香魚アリ

鴨川 ○蛇石村山中ヨリ發シ市之瀬村ヲ經、下小野村ニ至

リテ青野川ニ入ル

小野川 ○上小野村山中ヨリ出テ小町川ニ入ル

毛倉野川 ○村名ヲ以テ名ク奥條山ヨリ出テ岩殿村ニ至

リテ青野川ニ入ル

一條川 ○亦村名ニ因ルニ源アリ一ハ深洞ヨリ出テ一ハ

彌躰山ヨリ出ツ馬込ヲ經テ二水相會シ南流シテ上賀茂

村ニ至リ青野川ニ入ル

二條川 ○二源アリ一ハ入間村差田ヨリ發シ入間川ト云

一ハ妻浦村立岩ヨリ發シ立岩川ト云一色村ニ至テ二水

二條村ニテ相會シ村名ヲ以テ呼フ加納村ヲ經テ下賀茂

村ニ至ル

南川 ○下賀茂村立岩山ヨリ發シ三條ヲ過ク上流ニ異

鯉名川 ○一條村小松嶺ヨリ發スル青市川、三倉山ヨリ出

ルガ子七夕川ノ二水蒲谷ノ地ニテ合流シ鯉名川ト云日野川

ニ入ル

下流澤 ○下流村ニ在リ

大瀨澤 ○大瀨村ニ在リ

長津呂川 ○長津呂村ニ在リ

五庵川 ○入間村五庵山ヨリ出テ中木ニ至ル又匙山澤、大

田川、清水川、水口川、追繰川等ノ細流アリ

妻浦川 ○一名向町川、妻浦村ニ在リ又吉田、田面、人附、等小

溪アリ

子浦川 ○子浦村ニ在リ又風早川ハ風早山ヨリ發ス

大澤川 ○伊濱村高増嶮山ヨリ發スル二水合流シテ此稱

アリ又金山澤アリ

鐔澤川 ○蛇石村山中ニ發シ落合ニ至ル

臺田川 ○雲見村ニ在リ

石部川 ○石部村白崩山ヨリ出ツ

大瀉澤 ○岩地村山中ヨリ出ツル小流ナリ

岩科川 ○加増野村山中ヨリ發シ廣河原ニ出テ岩科、道部、

二村ヲ過キ那賀川ニ注ク

那賀郡

宇久須川 ○宇久須村房岩山ヨリ發スル大楠川、河島山ヨ

リ出ル河島川神田川ト呼フテノ二水合流シテ此稱アリ

赤川 ○一名寺川、同村八公山ヨリ出テ河島川ニ入ル水源ニ水

石硫黄アリテ水味酸澆、虫魚ヲ産セズ

三瀧川 ○同村三瀧山ヨリ出テ宇久須川ニ入ル

大川宮川 ○阿良里村ニ在リ

大田川 ○田子村大田山ヨリ發ス

佛澤川 ○同村杉山ヨリ出テ大田川ニ入ル又平野川アリ

仁科川 ○二源アリ一ハ天城山猿降ヨリ發シ大澤里村ニ

至リ白川ト名ク一ハ猫兒越ヨリ出テ地上坂、下ニ至リ音

無川水地中ヲ伏流スル七八町其ト呼フ此二水相會シ川

細ノ入湯澤ヲ合ス一色、中村ヲ經テ濱村ニ至リ海ニ入ル

長大約三里拾八町下流廿五間

川金川 ○門野村富貴野山ヨリ發ス山中瀑布ヲナス者數

所アリ一色村ニ至リテ仁科川ニ入ル又谷戸澤、掘坂澤、崩

堂島澤 ○濱村大鐘山ヨリ發シ堂島ニ至リ海ニ入ル是レ

ニ充タル所ナルヲ以テ録ス又築地川ハ仁科川ニ入ル

江奈川 ○江奈村谷隈山ヨリ發シ村西ニ至リ瀧シテ池ヲ

ナシ三畝許復流レテ海ニ入ル

那賀川 ○源ヲ天城山中ニ發シ池代村ニ至リテ窪川ト云

湯澤、滑川、震川、等ヲ合セ池代川ト云大澤村ヲ過キ小倉川

ヲ合セ那賀川トナル西流シテ船田、南郷、中村、櫻田、宮内、諸

村ヲ經、松崎村ニ至リテ海ニ注ク大澤村以下小舟ヲ通ス

長大約四里三十町、幅中流以下三拾間、香魚、石斑魚、ヲ産

ス支川ノ差大ナル者岩科川トス

小倉川

○小杉原村ノ柳澤、小畑、瀧入、見上澤、ノ四水合流シテ此稱アリ明伏村ヲ經赤澤ヲ峰輪、大澤ノ村界ニ至リ池

代川ニ入ル

大澤川

○天城山麓ヨリ出テ大澤村ニ至リ池代川ニ入ル又嶺澤、小面澤、アリ

竹澤、西繩澤。

○峰輪村ニ在リ那賀川ニ入ル〔以下二水同之〕

船田川

○船田村ニ在リ

守津澤

○山中ヨリ出テ中村建久寺村ノ間ヲ流ル

橋梁

○本州固ヨリ長橋虹梁ナシ然レモ各地ヲ巡行シテ見聞スル所ノ橋梁百四十餘ノ多キニ至ル是レ當ニ選擇取捨シテ載ス可シト雖私ニ鷄肋ノ感ナキニ非レハ大率之ヲ拾収ス橋梁ノ長六歩ニ過キサ者ハ概々其長ヲ録セス

○近年道路ノ改良ト共ニ各地著ク橋梁ノ増加ヲ見ルト雖其短小ナル者ニ至リテハ一々之ヲ輯録セス

○今増補スル所ハ明治廿一年ノ調査ニ據ル故ニ爾後ノ架設ニ係ル者ハ之ヲ掲ケス

○州中ヤ、著名ノ橋梁ハ書式ヲ以テ別ツ
○凡、橋名ニ川ヲ冒スルハ其架スル所ノ川ナルハ言ヲ待タサルヲ以テ一々録セス

君澤郡

大橋 ○一名新町橋、三島驛ノ東新町ニ在リ、増三島驛川原、
 谷村トノ間賀茂川ニ架ス長廿三間幅一丈五尺九〇長十國
 道ニ屬ス

被所橋 以下三島驛ノ下ニ一保町橋ニ至ルマテ皆驛道ニ係ル以
 屋場前橋 御殿橋 中島ノ保町小中橋 四宮橋 小島大橋 中島橋

ノ間ニ在リ往昔分界ト源平橋 大島六反花懸橋 茶
 町橋 木町橋 二枚橋 一茅夫斜線橋 下市ケ原ニ在リ

新屋橋 〇破戸小川ニ架ス甲州道也該戸橋以下皆長敷セニ足
 小橋 〇凡七間大橋ノ東ニ在ルテ橋ナリハ載セニ足

青木橋 〇界川橋 〇二橋ニ架ス倉村ニ在ルテ橋ナリハ載セニ足

神川橋 〇三島驛ノ長一町二村トノ間ニ架ス

雪澤橋 前川橋 〇共ニ谷田村ニ在リ賀茂川
 下川原橋 〇中村ノ下流ニ架ス下ノ二橋同之
 北澤橋 〇北澤村ニ在
 大場橋 〇大場中島兩村ノ間ニ在リ石造ニシテ長十三間
 下田往還ニ係ル 増賀茂川ノ下流大場川ニ架ス明治十六
 年木橋ニ改造シ差完美ナリ

青木橋 〇青木村御殿川ニ
 鶴喰橋 〇鶴喰村ニ在
 川崎橋 〇八反畑村ニ
 梅名橋 〇梅名村ニ在リ

境橋 増長伏村ト駿州上徳倉村トノ間狩野川ニ架ス從來
 渡津ナリシヲ明治十年架橋ス長四十二間幅六尺五寸

○以下常磐橋マテ狩野川ニ架ス

新城橋 ○御園村ト駿州大平村トノ間ニ在リ從來渡津ナ

リシヲ明治十一年架橋ス長三十七間幅七尺

岩崎橋 ○北江間村ト田方郡原木村トノ間ニ在リ元來渡

津ナリシヲ明治十一年架橋ス長三十五間幅七尺

中野橋 ○古奈村ト田方郡中條村トノ間ニ在リ元來津處

ナリシヲ明治廿年架橋ス長三十間幅八尺

常磐橋 ○天野村ト田方郡白山堂村トノ間ニ在リ亦津處

ナリシヲ明治廿一年架橋ス長五十四間幅一文此邊河幅

廣ク流勢遲緩橋上ノ風光頗佳ナリ

湯川橋 ○下修善寺村ト田方郡小立野村トノ間ニ在リ下

渡月橋 ○往選ナリ湯川ハ桂川ノ一名○長十二間幅二間

雨修善寺村桂川ニ架ス○

虎溪橋 ○修善寺村修善寺門前ニ在リ桂川ニ架ス○橋ノ渡月上

處ニ在リノ長十三間許此地ノ形勝揚州匡廬山ニ髣髴タ

ルヲ以テ之ニ擬シテ溪ヲ虎溪ト云ヒ橋ヲ虎溪橋ト呼フ

范至能ノ吳船録ニ云虎溪涓々小溝不能五尺濶ト如此小

溝千載其名顯ル者淵明ノ筆名流ノ遊フヲ以テ爾リ

大川橋 ○重須村

河内川橋 ○木負村ニ在

古宇橋 ○古宇村

鬼川橋 ○戸田村

寺橋 ○小土肥村大川

ハカ橋 ○間宮、肥田、兩村ノ間ニ在リ大川ノ下流長崎川

ニ架ス長七間許石造ナリ下田往還ニ屬ス

○以下箕子橋マテ倉下橋ヲ除ク外皆下田往還ナリ
深澤橋 ○三福村ニ
狩野川橋 増大仁村ト君澤郡瓜生野村トノ間狩野川ニ架

ス長三十四間幅二間從來渡船ナリシヲ明治十三年始テ
架橋ス橋側ニ水晶山ノ清潭ニ映スルアリ下流數町ニ丈
山ノ巖壁削立スルアリ頗美景ヲ呈ス

高橋 村今深澤ニ架スル云○大平村ニ在ル小石橋

リシ時其梢架シタル此橋ト作ス按スルニ此邊古船ヲ伐

皇ノ時枯野ノ架材ヲ出タシト傳フレハ安武九ノ古來此橋ニ婦人月

ニテ伐リタルハ武九ナリト傳フレハ安武九ノ古來此橋ニ婦人月

水ノ伸縮ナレハ武九ナリト傳フレハ安武九ノ古來此橋ニ婦人月

田鶴川橋 村今柿木橋ト稱ス○松ケ瀬柿木ニ

出口橋 倉下橋 船原ニ下架ス村ニ間幅二間

古渡橋 村月ヶ瀬門野原ノ
澤尻橋 原門野
嵯峨澤橋 ○門之原市山兩村ノ間狩野川ニ架ス長七間許 増明

治十九年改造ス長廿四間幅二間嵯峨澤ハ狩野川上流ノ
舊稱ナリ

箕子橋 長野川ニ架ス島二村ノ間
猫兒橋 長野橋 新宿橋 外天城山溪澗ニ橋梁數所架ス此

田澤橋 田澤村ヨリ十月三年架橋ス長廿貳間
竹内橋 矢熊村ニア
立野橋 本立野村ト日向村トノ間狩野川ニ架ス從來渡

加殿橋 加殿村ト拍久保村トノ間大見川ニ架ス從來渡
小川橋 村ニ拍久保村トノ間大見川ニ架ス從來渡

石堂橋 增 原木村ト駿州日守村トノ間狩野川ニ架ス從來

渡津ナリシヲ明治廿一年架橋ス長三十三間幅七尺

日出橋 增 肥田村ト駿州日守村トノ間狩野川ニ架ス元來

津處ナリシヲ明治十二年架橋ス長廿九間幅七尺

前川橋 肥田村

高野橋 冢本村 新川

長崎橋 長崎村 八間

松木橋 石橋 松澤川ニ昌毛村

鈴川橋 仁田村 肥田村

八溝橋 仁田村 肥田村 三島ヨリ走湯山熱海へ六枚橋村ト上

澤川ニ 大土肥橋 大森川橋 新川橋 土肥村ニ三橋リ大

大川橋 輕井澤

大橋 代村 冷川

佛橋 大橋 共ニ桑原村 桑原川 船山橋 同村冷川ニ架

賀茂郡

下大橋 下白岩村 疾川ニ在

小川橋 上白岩村 大見川ニ架

堰澤橋 關野村 獨木橋ナリ

土取橋 城村 在

馬場澤橋 八幡村 冷

高橋 前川橋 永冷川 德持越橋 同村冷

柳瀨橋 柳瀨村 在

道明橋 安堵橋 梅木村 大見川ニ架 元長七間許 獨木朝

ヲ塞セリト圖ル朝適レテ此地ニ至リヤス
 安堵セリト言ヒシヨリ名クテト眞偽ヲ知ラス
 渡所橋 川ニ宮上村西
 新渡橋 中島橋 小澤橋 大嶺川ニ架ス湯村
 小倉橋 下橋 澤ノ共ニ下流ニ架ス皮子
 垂川橋 村ニ地蔵堂
 牛渡所橋 川ニ原保村西 樋ノ橋 灘所橋 押切橋 東川ニ架ス村狂
 言橋 橋上ニ村集リ人ニ架スル小石橋ナリ傳云往昔狐狸此
 櫛木渡所橋 中川戸ニ倉野ス村シテ雜劇ヲ爲ス因テ名クト
 大橋 川ニ管引ス村東
 逢初橋 長伊豆山間幅二間 豆相國
 門川橋 界伊豆山間北間 橋ニ至ルマテ大川橋
 御成橋 川ニ熱海ス村録 九間幅二間 橋ニ至ルマテ大川橋
 初川

橋 和田川橋 〇同村ニ在リ
 大川橋 〇上多賀村ニ在リ
 宮川橋 中川橋 鍛冶川橋 水神川橋 〇以上下多賀村ニ在リ
 烏川橋 宮川橋 中川橋 〇三橋字佐美村ニアリ間許 烏川橋 次之水
 湯川橋 〇湯川村
 大川橋 〇松原村 長田 中島ノ間 松原川ニ架ス從來渡船ナ
 リシヲ明治十四年架橋ス長二十六間幅一丈
 岡橋 〇岡村ニアリ長
 和泉橋 〇鎌田村
 大川 〇大川村
 白田 〇片瀨白田
 大川橋 〇稻取村ニアリ長八間許

大橋 田見高村香戸、
 菅蒲橋 浦澤ノ小ノ屬地菅
 賜橋 足白濱村小長二許ノ小橋壁立數仞水ニ臨ト云 官冥
 荒倉橋 川ニ谷津、笹原兩村ノ間川津
 富川橋 二〇峰村長八津間川
 寺澤橋 二〇澤田村
 下佐野橋 二〇下佐野村ト川津茂場村天川
 大橋 野〇茂場村佐ケ川津茂場村十六間
 箕子橋 馬渡所橋。一、渡場橋 馬〇三橋梨本村奥原川ニ架ス箕子
 十間ハ長 〇箕子橋以下道軒橋マテ下田往還ニ係ル
 大渡場橋 津〇火鍋村ニアリテ川小渡所橋 〇同村大鍋
 櫛木渡所橋 鍋〇川ニ鍋村ス小

論田橋 〇推原村須
 荒増橋 〇荒増村稻生
 志戸橋 〇河内村志戸ニ在リ稻生澤川ニ架ス長十九間幅
 二間明治十二年架設ニ係ル
 〇以下稻生澤橋マテ道軒橋ヲ除ク外稻生澤川ニ架ス
 満晶橋 〇河内村ニ在リ長七間許、満晶ハ橋邊ノ寺
 立野橋 立野村ニ在リ長廿二間幅二間〇長十 明治十九年
 改造ス
 本郷橋 〇本郷村高馬ニ在リ長四十一間幅九尺明治十七
 年架設ス 〇高馬橋
 道軒橋 〇岡方村(〇)今下田町
 稻生澤橋 〇下田町ト柿崎村トノ間ニ在リ從來渡船ナリ

シヲ明治十一年架橋ス長四十五間幅二間明治廿三年改

稱橋スト
坂下橋中島橋七軒町橋治川ニ架ス

大橋十王堂橋川ニ架ス共ニ長九間佐美

屋元橋増手石湊兩村ノ間手石川ニ架ス長三十一間幅六

尺以下石井橋マテ手

日野橋四手石村日野ニ在リ長廿間

宮川橋前川橋リ前川ハ賀茂村ニ架ス長十三間

石井橋リ石井村ニ在

湯本橋リ川ニ架ス

大橋ニ長津呂村ニ架ス

界橋ニ道部村東松崎道部橋同村岩科川ニ架ス長十三間往昔那賀

郡ノ那賀石火兩
大橋幅九尺以下二橋岩科川ニ架ス長十三間常磐橋長同村ニ在リ

尺渡月橋長十間幅七尺

大橋〇松崎村那賀川ニ架ス増長十八間半幅一丈

那賀郡

濱川橋〇江奈村江

濱村橋〇濱村仁科川ニ

橋〇濱村堂島ト云處ノ小溪ニ架ス橋材ハ刺柏ノ厚板

二枚長各八尺許ナルヲ用ウ傳云往古枯野船ノ餘材ヲ架

シ此橋ト作スト志等ニ野船ノ餘材ト云ルハ信シ難シ名迹

野レ此蓋牽強ナルト見ユ此橋不淨ノ者過クレハ則動揺ス故

ニ此稱アリト云今別ニ不淨橋ヲ架シテ渡ラシム此里俗云

ノ細片ニ火ヲ照スレハ小兒ノ夜啼ヲ止メ
 又能ク瘧ヲ治スト今尙削リ去ル者多シ
 按スルニ橋ユルキ橋
 ハ藻鹽草、方角抄等ニ本州ニ載セハ雲御抄、歌枕名寄ニハ
 本州或ハ伊豫トス濱村ニ在ル者極テ古物ニシテ州中尤
 著名ナレハ是トス可キニ似タリ駿州駿東郡深良村ニ橋
 是レニ當ツル説アレレ信シ難シ
 懷中抄ニ「綠色ニ春ハツレナク見ユルキノ橋シモ秋ハ先
 モミチケリ

濟渡
 今増補スル所ハ明治廿一年ノ調査ニ據ル
 大仁、渡ワタシ ○大仁村ト瓜生野村トノ間狩野川ヲ渡ル下田往
 還ナリ増明治十三年架橋ス橋梁部
 以下田澤、渡ニ至ルマテ皆狩野川ニ係ル
 矢崎、渡 ○舊名岩崎。北江間村ヨリ原木村ニ渡ル増明治十
 一年架橋ス橋梁部 ○以下皆間路ニ在ル渡津ナリ
 松原、渡 ○南江間村ヨリ四日町村ニ渡ル
 中條前、渡 ○中條、古奈、兩村ノ間増明治廿年架橋ス橋梁部
 古奈、渡 ○古奈、中條、兩村ノ間増明治八年廢ス
 南條前、渡増南條村ト小坂村屬地トノ間
 天野前、渡 ○白山堂、天野、二村ノ間増明治廿一年架橋ス橋梁部

濟渡
 今増補スル所ハ明治廿一年ノ調査ニ據ル
 大仁、渡ワタシ ○大仁村ト瓜生野村トノ間狩野川ヲ渡ル下田往
 還ナリ増明治十三年架橋ス橋梁部
 以下田澤、渡ニ至ルマテ皆狩野川ニ係ル
 矢崎、渡 ○舊名岩崎。北江間村ヨリ原木村ニ渡ル増明治十
 一年架橋ス橋梁部 ○以下皆間路ニ在ル渡津ナリ
 松原、渡 ○南江間村ヨリ四日町村ニ渡ル
 中條前、渡 ○中條、古奈、兩村ノ間増明治廿年架橋ス橋梁部
 古奈、渡 ○古奈、中條、兩村ノ間増明治八年廢ス
 南條前、渡増南條村ト小坂村屬地トノ間
 天野前、渡 ○白山堂、天野、二村ノ間増明治廿一年架橋ス橋梁部

看部參

小坂渡 増 小坂村ニ在リ

神益前渡 ○ 神益、中島、二村ノ間 増 目下兩岸神島村ニ屬ス

住吉渡 増 神島村住吉ニ在リ

遠藤渡 増 本立野、日向、二村ノ間ニ在リ 明治十九年架橋 梁橋

看部參

雲金渡 増 雲金村ニ在リ 近年架橋セシモ流失ス

田澤渡 ○ 田澤村ヨリ月ヶ瀬村ニ渡ル 増 明治十三年架橋

ス橋梁部 參看

加殿渡 ○ 加殿村ト相久保村トノ間大見川ヲ渡ル 廣、三十

步許 増 明治十七年架橋ス 橋梁部 參看

松原渡 ○ 松原村松原川ヲ渡ル 廣三十二步 増 往年架橋ス

橋梁部 參看

川津渡 ○ 濱村、谷津村ノ間川津川ヲ渡ル 廣、十八步許

下田渡 ○ 下田町柿崎村ノ間稻生澤川ヲ渡ル 廣、五十步 増

明治十一年架橋ス 橋梁部 參看

手石渡 ○ 手石村湊村ノ間手石川ヲ渡ル 廣、三十步 増 往年

廢絶ス

○ 此外駿州駿東郡ヨリ本州へノ渡津四處アリ左ニ収録ス (皆狩野川ニ係ル)

石堂渡 ○ 日守村ト原木村トノ間 増 明治廿一年架橋ス 梁橋

看部參

肥田渡 ○ 日守村ト肥田村トノ間 増 明治十二年架橋ス 梁橋

看部參

御園渡

○大平村ト御園村トノ間增明治十一年架橋ス梁橋

看部參

長伏渡

○徳倉村ト長伏村トノ間增明治十年架橋ス橋梁

看

池塘

增池塘ノ反別目下ノ丈量ニ係ル者ハ總テ繁冗ヲ厭テ之ヲ掲ケス

小濱池コハシ菰池コモ

○君澤郡以下三島驛ノ北ニ在リ井泉部ニ詳也

三島池

增同所三島神社境内ニ在リ大小ノ鯉鮒常ニ群ヲ

爲シテ游泳ス

宮池

○徳倉村ハ乙女祠傍ニ在リ小池ナレバ數十町ノ水

田ニ灌溉ス

大場塘

○大場村ニ在リ廣廿貳畝又藍池、新池ノ二小塘アリ

小池塘

大谷戸塘カネ金打塘ウチ珍場塘チン小坂塘コサカ ○北江間村ニ在リ

小池塘ハ廣四十壹畝拾貳步、大谷戸塘ハ廿貳畝金打塘ハ拾八步、珍場塘ハ廿參畝拾貳步、小坂塘ハ廿六畝池、大谷戸、金打ノ三塘ハ元和三年官費ヲ以テ開鑿ス

大洞塘堤洞塘西入塘 ○南江間村ニ在リ 大洞塘ハ廣廿
 入塘ハ拾貳畝廿步西 入山塘山田塘 ○堀之上村ニ在リ 入山塘廣廿八畝拾八步
 大塘上塘下塘 ○長岡村ニ在リ 大塘廣百三拾五畝九步上
 又池谷戸塘アリ 上塘下塘 ○花坂村ニ在リ 上塘廣拾畝步
 水口塘 ○長瀬村ニ在リ 廣拾六畝又松洞ニ小塘アリ
 清水塘漆原塘二本松塘 ○小坂村ニ在リ清水塘ハ貞享ノ
 初縣令竹内氏開鑿ス 廣三十步漆原塘ハ元祿中鑿ツ 廣四十
 步二本松塘ハ 廣百四十畝步 蘆原池 堀修善寺村大芝山中ニ在リ周圍半里許
 大瀬池 ○江梨村大瀬崎ニ在リ周圍可三百步 堀此池岬角

ノ極端瀕海ニ在テ淡水涌出大小ノ鯉鮒游泳スルヲ見ル
 奇ト謂可シ按スルニ是レ往古ノ墳火口ナラム乎 岬角部
 洲郷池 ○井田村海濱ニ在リ 廣廿畝步 蘆荻叢生ス
 御殿塘 ○土肥村ニ在リ 廣貳畝步
 八木澤池 堀八木澤村海濱ニ在リ
 本塘木丸管塘奥山田塘 ○小下田村ニ在リ 本塘廣四十五
 廿四畝三歩奥山 又大山田塘ハ今水涸ル 廣拾畝
 芋生田池 ○田方郡同以下 上澤村ニ在リ 廣四畝
 沖荒塘松河塘 ○平井村ニ在リ 共ニ小塘ナリ 極トテ深
 仁田塘 ○仁田村ニ在リ 廣八畝步
 稻妻池 ○柏谷村ニ在リ 往昔大池ナリシモ今ハ縮小セリ
 ナホ二三町ノ間ハ甚深シ 堀伊豆鱈ニ曰東 堀此池舊狩野
 西三四町南北五町今岸通リハ田ト為ルト 堀

川ノ淵ナリト云往昔狩野川ハ長崎村ヲ經テ仁田、相谷、兩
 村ノ間ヲ流レ大場、村南ニ至ル
 溜井、塘 ○同村ニ在リ 廣三十四
 石澤、塘。石澤、新塘。山中塘。水神戶、塘 ○多田村ニ在リ 廣八拾
 塘三畝六歩、石澤新塘四拾畝五歩、山中
 塘廿五畝廿壹歩、水神戶塘六畝拾四歩
 山木塘 ○山木村ニ在リ 廣拾八畝
 田中塘 增南條村ニ在リ 廣廿
 條、寺家、四日町、原木、五村ノ水田三百餘町ニ灌溉ス
 大澤池 ○浮橋村池、山ニ在リ舊、大池ナリシニ今ハ差狹小
 二ナリタリ 嘗、池底ヨリ杉ノ古
 新地 ○大平村ニ在リ 廣六十 流レテ瀑布ヲ爲ス 增旭、瀧是
 レナリ

日向池 ○或ハ大池ト云日向村南山中ニ在リ 内ニ日向官林
 廣壹千貳同村ノ溉田ニ供ス又小池、廣八十アリヲ葦及荇菜
 百四畝ニ未タ 之中他ニ見ス
 鬢鹽池 ○年川村山中長者原ノ東北ニ在ル小池ナリ 廣百
 柳池 ○大野村東山中ニ在リ 長六七
 小川池 ○賀茂郡同以下岡村山中ニ在リ 廣十小川ノ水源也
 赤牛池 ○池村ニ在リ 廣七百 箭筈峰ヨリ發スル鳴澤ノ小
 流之ニ注ク此邊往昔大ニ燃タルヲ以テ土鬆虛ニシテ水昏
 池中ニ滲入シ常ニ泛溢セス 傳云往昔此池ニ赤牛スム死
 增此池即噴火口ナル可シ是村名ノ因テ起ル所也 明治初
 年巖石ヲ穿テ池水ヲ疏通シテ大半田圃ト爲ス 此水ヲ引
 野雨村ノ壑田十餘町ノ
 灌既ニ供ス 町村部參觀ノ
 池塘

大池 ○吉田村西南山中、十八町許ニ在リ、周回一千三百八十七步、好風景ナレ、山間ナルヲ以テ、人ノ遊賞スルナシ、往昔伊東氏ノ館内ニ此水ヲ引キタリ、今其舊渠ヲ用井テ、菽村ノ溉田ニ供ス。

鴨池。舊蒲池。丸池。○三池大池ノ近傍ニ在リ、鴨池周回三百九十五步、又此村ニ新舊二塘アリ、新ハ七十壹步、舊ハ四十五步。

青意池 ○天城山大嶽ノ東南ニ在リ、濶方八町、故ニ八町池、氏云池傍灌木叢生シテ殊ニ奇觀ナシ、辨語細竹ヲス、ト

間ハ此竹尤多シ、増此池直立三千七百五十一尺ノ山上ニ在リ、是往古ノ噴火口ナル可シ、伊豆國地質取調報告書ニ

峯ノ南西ニ在リ、テ其狀恰モ鍋ノ如シ、時實火ノ際、四方ニ燒石ヲ噴ス、

天城山中ニ産スル硫黄ノ如キモ、其凝流中ニ出ル者トス。

又此湖ヨリ北東六七町ニ白田口ヨリ大見ノ口ニ越アル道アリ、此道ヨリ北へ一里餘モ、流及セシハ、

上ヨリ北腹ハ、今地形ヲ容レザル也、

ハ此流ノ異ニスレハ、今地形ヲ容レザル也、

溝下塘 ○稻取村ニ在リ、廣八畝、

宮尾塘。千田塘。○吉佐美村ニ在リ、宮尾塘廣六畝、拾步、

蛇野池 ○蛇石村西北山中ニ在リ、周回壹里四五町、池邊蘆葦雜草叢生、

項年開墾シテ、得田四

町七反六畝、水田

葦雜草叢生、町七反六畝、

原池 ○那賀郡池代村ヨリ壹里許山上ニ二池アリ、雄池

長十雌池、長廿ト云下流ヲ裳川、

喬一名雌ト云、

白瀧ト稱ス溜近年堤ヲ築クヲ爲サス

玉川泉增玉川村ノ西北ニ在リ其水清冽亢旱ニモ涸渴セ

ス下流ヲ玉川ト云是レ村名ノ因テ起ル所ナリ

胡頹泉○古宇村泉流寺ニ在リ澄清ニシテ甘美ナリ又梨

本泉ハ溉田ニ供ス

觀音泉○戸田村觀音堂下ノ岩隙ヨリ湧出ス此水茶ヲ煮酒ヲ醸スニ

適又筒井アリ

鬢田泉○田方郡以下平井村東鬢澤ニ在リ源頼朝用キテ

瀧前泉增同村瀧前ト云處ノ岩窟ヨリ涌出ス里人木槽ヲ

設テ之ヲ貯ヘ飲料ニ供ス

御産井○寺家村守山ノ東北ニ在リ傳云往昔北條氏此地

ニ居住シ夫人諸兒ヲ舉ルニ此水ヲ用井シニ因テ名クト

其傍ニ御産所ノ稱存ス又同村信光寺ニカ加持井アリ

寶泉寺泉○賀茂郡以下八幡村寶泉寺廢寺背後ニ在リ夏

ハ冷冬ハ温ナリ

明星井○伊豆山村西谷ニ在リ走湯山舊記曰齊衡二年安

誦結壇明星入井中ト世人智惠水ト稱ス

三點井○熱海村温泉寺ニ在リ唐ノ悟達靈水ヲ三點シテ疾ヲ治セシ故事ニ因リ

テ名クト云

業平井增同村新宿ノ路傍ニ在リ石ノ井筒ナルカ故ニ在

原業平ノ詠歌ニ因リテ名ケシナル可シ

溜井增同村上宿ノ北ニ在リ清水ヲ瀦シ各戸飲料ニ供ス

一杯水○上多賀村曾我山路傍ニ在リ盈尺ノ小泉ナレ

水量大旱ニモ減セス行人飲テ渴ヲ醫ス

磯川泉 増新井村海濱ニ涌出ス里人以テ飲料トス或云新

井ノ村名此泉ヨリ起レルナラムト

息繼水 増濱村路傍ニ在リ清泉ナリ

不飲水 ○峰村俎嶺ニ在リ婦女赤白帶下ノモノ此

長磯泉 増田牛村海岸ニ在リ巨巖中央ノ凹處ヨリ淡水湧

出シ亢早ト雖涸レス波濤時ニ巖上ヲ過クレ

御手洗井 ○子浦村ニ在リ一村之ヲ汲ム

酒泉 ○岩科村山中ニ在リ長五歩幅丈餘ノ泉也又同村ニ

山口泉、古井、普恩寺泉等アリ

華水 ○松崎村淨感寺ニ在リ又淨泉寺ノ傍ニモ清泉湧ク

井田子泉 ○那賀郡田子村井田子ニ在リ此地唯一泉アル

温泉

○凡温泉ハ人ノ元氣ヲ養ヒ氣血ヲ行ラシ體ヲ温メ瘵

ヲ排ス然レモ各所ノ温泉治効同シカラス其涌出スル

僅ニ跬步ヲ隔レハ輒泉質ヲ異ニスル者往々然リトス

増各温泉ノ温度ハ華氏寒暖計ニ據ル

増各温泉ノ浴客數ハ明治十五、十六、兩年ノ平均ニ據ル

古奈温泉 増君澤郡同以下古奈村山麓ニ涌出ス温度百三十

一度晴雨ニヨリ高低アリ泉質ハ鹽類泉ニ屬シ無色透明

テ一リ格魯兒多量硫酸多量矽酸少量鐵痕跡加爾基少量安

量ハ「格魯兒多量硫酸多量矽酸少量鐵痕跡加爾基少量安

折表ハ「格魯兒多量硫酸多量矽酸少量鐵痕跡加爾基少量安

一ニ槽アリテ本鏡泉誌ニ據テ録ス以下同之○泉源一、槽一、今

甚ノ氣專、痲疥、癆腫、惡瘡、ヲ治ス 増浴客一年凡貳千五百人

少量ノ硫酸化 ○惡瘡、濕瘡ヲ治シ結毒ヲ發ス（增）石湯ハ管湯ノ東渡月橋側ニ在リ温度百八十五度（泉質炭酸曹）石槽ナル故名トス疝癥、打撲、折傷ヲ治ス（打撲身體不隨及痿痺者往々然リ）（增）乳兒湯ハ石湯ノ東岩腹ヨリ湧ク盤岩ヲ鑿チ槽ヲ設ク温度百五十四度（泉質同上）又此泉ヲ分チ暗竇ヲ以テ北涯ニ引キ浴槽ニ瀑下スルヲ瀧湯ト呼フ ○泉下ニ兒淵アルニ因テ名ク（古國ニ今亭湯ト云ハ訛也痔漏、婦人經閉、ヲ治シ老幼及病後ノ者浴スルニ適ス）（增）杉湯ハ管湯ノ西鈴木氏ノ宅隅ニ在リ温度百四十一度（泉質同上）明治六年發掘ニ係ル（開鑿ノ際土中ヨリ朽槽并古鏡ヲ出タス即往昔此ニ浴場アリテ後中絶ニ屬スルヲ知ル可シ）桂湯ハ桂川ノ中流ニ涌ク陰樋ヲ以テ相原氏庭中ニ引キ機管ヲ設テ發瀉セシム温度百五十九度（泉質同上）大同泉ハ

錫鉢湯ノ傍岩隙ヨリ湧ク陰樋ヲ以テ淺羽氏宅中浴槽ニ引ク温度百四十度（泉質錫鉢湯ニ同シ）花湯ハ三須氏ノ園中ニ在リ温度百三十四度（泉質硫酸化水素）明治七年發見ス保生泉ハ管湯ノ北隣野田氏宅中ニ在リ温度百十四度（泉質炭酸曹）明治九年發見ス菊園泉ハ野田氏邸内ニ在リ温度百四十四度（泉質少量硫酸化水素ヲ含ム）明治元年發見ニ係ル明治泉ハ大川氏園内ニ在リ温度百五十度（泉質同上）明治六年發見ニ係ル其他菅蒲湯盤中泉、寺湯、柳湯、藤湯、等アリ客舎二十六戸浴客一年凡壹萬人

○此地南北ハ山巒屏列、中央ハ桂川貫流シ（虎渡月ノ二橋之ニ跨ル）水ヲ夾ミ山ヲ負テ客樓ヲ起ス其結構頗完美ニシテ遠近ノ浴客常ニ踵ヲ接シ其繁盛熱海温泉ニ次ク（北條五代記）

新九郎連例ト稱シ修善寺湯ニ入浴シテ伊豆國ノ様子ト具ニ探リ同國ヲ切テ取ント思慮ヲメグラシケル云々ト

小土肥温泉 増小土肥村湯洞ニ在リテ○淡味ナシ○微温ナ

ルヲ以テ唯夏日浴ス可シ刀傷ヲ治ス

鑛温泉 増土肥村安樂寺域内巖窟ヨリ湧出ス故ニ穴湯ト

呼フ温度百廿二度泉質ハ鹽類泉ニ屬シ無色透明無臭無

味ナリ其反應ハ亞兒加里性ニシテ一

リトル中固形分一七五瓦ヲ含有ス其各成分及量ハ「格

魯兒少量硫酸多量矽酸少量鐵痕跡加爾基多量那篤倫著

著明加里○延寶中採鑛セントテ山脚ヲ開鑿スル七八歩忽

然熱泉迸出ス即窟中凹處ニ就テ泉ヲ貯ル者四疝氣筋攣

打撲折傷ヲ治ス 増浴客一年凡三百人

古湯 増同村馬場ニ在リ泉源ニニ泉質略同シ共○一ヲ大湯

ト云冬ハ微温ニシテ泥瀾ヲ生スルニ至ル夏ハ即熱ス眼

疾ヲ治ス一ヲ小湯ト云ル大湯ヲ距刀傷疝氣疥瘡ニ宜シ

畠毛温泉 増田方郡同以下畠毛村湯塚ノ水田中ニ涌出ス泉

源ニ温度共ニ九十八度無味ナリ其反應ハ亞兒加里性ニ

シテ一リトル中固形分一〇一瓦ヲ含有ス其各成分及量

ハ「格魯兒少量硫酸少量矽酸少量鐵痕跡加爾基

少量麻痺那篤倫著明加里著明弘化四年始テ浴場ヲ構フ打

撲腫物疥癬ヲ治スト云浴客一年凡八百五十人

船原温泉 増上船原村ニ在リ泉源ニ其一ヲ上湯ト云温度

百五十六度其反應ハ鹽類泉ニ屬シ無色透明無臭無味ナリ

形分一三六瓦ヲ含有ス其各成分及量ハ「格魯兒多量硫酸

多量燐酸痕跡矽酸少量鐵少量加爾基多量麻痺那篤倫著

明加里著明○疥癬ニ奇効アリ又打撲損傷及齒牙痛楚ヲ治ス 増浴客

一年凡六百五十人 吉奈温泉 増吉奈村岩隙ヨリ湧出ス温度百〇五度泉質單

屬シ無色透明微塵アリ無臭味ナリ其成分ハ弱亞兒加
 里性ニシテ一リトル中合有スル所ノ各成分及少量ハ
 硫化水素〇〇一五瓦格魯兒少量、硫酸亞酸、矽酸、那
 鐵痕跡、加里痕跡、固形分、硫黃ノ氣アリ〇此泉冬春ハ微温ナル
 〇著明、加里痕跡、固形分、硫黃ノ氣アリ〇此泉冬春ハ微温ナル
 ヲ以テ初夏ヨリ仲秋迄浴スルニ宜シ温中排痰、肺病、筋攣、婦
 女無子者ニ奇効アリ治効但州崎温泉ト伯仲ス可シト
 ラ世ニ知ス〇増近年又一泉ヲ發見ス同温浴客一年凡三千五百
 人

瀨古瀧温泉 湯島村猫兒川ノ西涯岩隙ヨリ涌出ス温度

百五十度ク泉質鹽類泉ニ屬シ無色透明ニシテ微塵アリ少
 一トル中固形分一七瓦ヲ含有ス其成分及量ハ格魯兒
 少量、硫酸多量、鐵痕跡、加里痕跡、固形分、硫黃ノ氣アリ〇體ヲ温メ痰ヲ排シ癩病、痿躄、不仁、眼
 味、吉奈温泉ニ類ス〇體ヲ温メ痰ヲ排シ癩病、痿躄、不仁、眼
 疾ヲ治スト云隣地ニ瀨古瀧ト呼ル小瀑布アリ因テ泉ニ

西平温泉 同村西平、水涯ニ涌出ス温度百〇四度 泉質、硫
 鹹ヲ混シ微ク〇里人石ヲ環ラシ泉ヲ貯ヘ浴ニ供ス水漲レ

ハ即崩壞スヲ對岸ニ引キ浴槽ヲ設クテ泉〇漆瘡、疥癬、ヲ治
 ス此邊水際數十歩ノ間地ヲ鑿テハ隨處ニ温泉涌出ス

木立温泉 同村ヨリ十餘町山中ニ在リ〇増温度百十三度

伊豆山温泉 増賀茂郡同之伊豆山村海崖岩窟ヨリ涌出ス

温度百四十四度 泉質、鹽類、酸、其反應ハ酸性ニシテ無味ニシ
 トル中合有スル微酸アリ其反應ハ酸性ニシテ無味ニシ
 少量、燐酸、痕跡、矽酸、少、加里、最、多、量、麻、兒、最、多、量、硫、酸、那
 篤倫著明、固形分、鹹、味、ア、リ、〇湧量極テ夥シ槽七八ヲ造リテ
 五七瓦〇些ノ鹹味アリ〇湧量極テ夥シ槽七八ヲ造リテ
 之ヲ引クテ海涯泉ニ客合七戸ノ浴槽ニ引クテ往古ハ直ニ海ニ

奔流ス故ニ走湯ノ稱アリ又海岸ニ飛泉ヲナス者三、崖下
 槽アリテ之ヲ盛ル逆上、頭痛、顛狂、以上ハ頂ヲ飛泉、腰痛、肩
 背痛、以上ハ患部ニ飛打撲、損傷等ニ宜シア、最頭痛ニ奇効
 リ、増浴室客一年凡貳千七百人
増准后親房記引、伊豆風土記曰、走湯者人皇四十四代養老
 年中開基ト行囊抄ニ或舊記ヲ引テ曰、仁明天皇承和二年
 之ヲ州ニ走湯ト云トツ、○相模集ニ「走湯ニ行通ヒニシ水莖ノ
 神ノ心ヲコメサラメヤハ」玉葉集、鎌倉右大臣ノ歌ニ
 「伊豆ノ國山ノ南ニ出ル湯ノ早キハ神ノ驗ナリケリ」鎌
 倉右大臣家集ニ「ワタツミノ中ニ向ヒテ出ル湯ノ伊豆
 ノ雄山ト宜モ言ヒケリ」トアリ
 熱海温泉 増熱海村ニ在リ古來七湯ト稱シテ七泉源アリ

シモ近世益發見シテ廿六泉ノ多キニ抵ル治以來ノ發見
 ルニ條大湯ハ上町ニ在リテ疊石ノ間隙長一尺幅五寸許ノ
 涌口ヨリ噴出ス定期噴泉即ガイ泉也○晝夜涌ク各三次時
 四時八時今ノ七時刻ヲ差ハス然レ氏三四十日ニ一次
 六時間今ノ十二涌キ六時間潤ル、事アリ其沸騰ノ時
 ニ方リテハ湯氣空ヲ衝キ濺沫霖霖ヲナシ響鳴雷ノ如シ
 泉甚熱シテ味苦鹹以下水、湯ノ外ナリ以テ物ヲ瀹ク可
 シ、按スルニ唐土安州ノ潮泉一、日ニ三盜三、蘇シ又、彬州撫
 フ、開カス、一、日、西、國、ア、佛、蘭、西、國、コ、ル、マ、ニ、在、ル、泉、以、太、利、
 亦定期噴泉増温度、貳百〇九度乃至貳百廿六度、泉質無色
 ナリト云、増温度、貳百〇九度乃至貳百廿六度、泉質無色
 ニシテ鹹味アリ、其反應ハ中性ニシテ、一、格、魯、兒、那、篤、箇、母、形
 分、九、三、五、瓦、ヲ、合、有、ス、其、各、成、分、及、量、ハ、一、格、魯、兒、那、篤、箇、母、形
 五、〇、九、三、五、瓦、ヲ、合、有、ス、其、各、成、分、及、量、ハ、一、格、魯、兒、那、篤、箇、母、形
 三、格、魯、兒、麻、偏、溼、叟、母、〇、〇、一、三、四、五、五、硫、酸、加、爾、叟、母、〇、一、三、八、一

ニ在リ眼病ニ奇効アルヲ以テ眼湯呼フ温度百三十一
 度野中湯ハ上野山麓ニ在リ徒ニ漫流シ去ル以上古來七
 湯ト云真誠社湯ハ上町ノ北ニ在リ温度百五藤井氏湯ハ
 小澤ニ在リ涌口ニ古湯八十度百新湯十二度百六ト云其傍ニ
 米倉氏湯アリ八十度百小松湯ハ野中ニ在リ温度百六度ニ水湯石
 無鹽ハ坂町ニ在リ氣熱度百三十二度蒸○此地ノ諸泉皆鹹
 味アリ而此泉ノ淡泊ニテ白湯ノ如シ奇ト謂可シ疥瘡
 二妙也(增)最上氏泉四十度百松湯八十度百五ハ同町ニ在リ尾
 張屋湯ハ仲町ニ在リ温度百四度百四眼湯ハ濱町ニ在リ又勸兵
 兵衛湯ハ云温度百四十三度泉質ハ無色透明無臭ニシテ
 強ク鹹味ヲ有ス其反應ハ中性ニシテ含有スル所ノ各成
 分及其量ハ「格魯兒加爾母那篤爾母四七七八格魯兒加爾母
 五九八格魯兒加爾母〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 二硫酸加爾母重炭酸鹽〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 炭酸加爾母重炭酸鹽〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

跡有概物痕跡固形樋口湯舊稱醫ハ眼湯ノ北隣ニ在リ温
 分合計八〇八四瓦湯王寺湯八眼湯ノ北隣ニ在リ温
 至百四十九度乃野田氏湯乃至百六十九度野田氏湯三十六
 度二見氏湯十度百五芥川氏湯十二度百五等ハ濱町海岸ニ
 接續ス仲湯十二度百四鶴澤氏湯十五度百四ハ其傍ニ在リ翠
 湯十五度百八真湯古屋湯七十四度平野氏湯十二度百六等ハ東
 町ニ在リ其他地底ヲ鑿テハ隨處ニ熱泉涌出スト云湖ノ退
 時ハ海濱小竅ノ内ヨ客舎三十六戸浴客一年凡三萬四千
 人
 ○凡温泉ノ沸湧大抵深山窮谷ニ在リ唯熱海ハ即山海ノ
 勝景ヲ具ス其心目ヲ怡ハシムルモ亦養病ノ一助ナル可
 シ(增)此地三面山ヲ環ラシ一面海ニ臨ミ山秀テ、水麗ク
 夏涼ク冬温ナリ客樓、肆、櫛、比相連リ遠近ノ浴客常ニ膺

集ス實ニ皇國著名ノ靈泉タリ尚町村
 増本町大湯ノ傍ニ翳氣館ヲ置キ大湯内ニ導キ病客ヲ蒸氣ヲ吸
 入セシム館内ニ浴室尋常浴室アリ病和田礫、横礫等ニ海水浴
 者ヲ診ス又雨浴室尋常浴室アリ病和田礫、横礫等ニ海水浴
 場ヲ設ク明治廿一年清水田御料地ニ離宮稱熱海建築ノ
 事アリテ既ニ皇太后皇太子ノ行啓アリキ
 増准后親房記引伊豆風土記曰、稽温泉、玄古天孫未降也、大
 已貴尊與少彥名命我秋津洲憫民、夭折始製藥湯泉之術、伊
 津、神湯又其數、而箱根之元湯是也、非尋常出湯一晝夜二度
 山、岩窟中火焰隆起而出、溫泉甚烈、鈍沸湯、以極盛湯、浸身者
 諸病悉治、ト伊津、神湯、伊豆也、即此溫泉ヲ謂ト云、説
 アリ、古史傳ニ曰、熱海ノ箱根、元湯是也、ト箱根ニ數所ア
 ル湯、ナリト云、ハ伊豆國ノ神、或云、天平寶治中箱根金剛王院ノ

僧万巻始テ發見スト其他諸説多シト雖荒唐ニ屬ス熱
 ナ守ト高リテ此地ニ滑石ヲ来リシ源ヲ探ラント欲シテ均キヲ鑿
 見大ニ怖レテ元ノ如ク理ムト、眞本智我、遠自伊豆安多
 年四月、中旬、此和、田左衛門尉、盛引具、子息、遠自伊豆安多
 美湯、被下、向、詣、早、河、湯、本、湯、返、三、浦、團、慶、長、九、年、德、川、家、康、上
 京、ノ、途、一、七、日、間、此、温、泉、ニ、浴、ス、寛、永、三、年、同、家、光、來、浴、セ、ン
 ト、欲、シ、此、地、ニ、来、ラ、ス、(古蹟部參看)
 戸、温、泉、増松原村猪戸ニ在リ、温度百十八度、泉質、塩類、泉
 透明ニ、臭、味、ニ、シ、テ、少、シ、ク、浮、游、物、アリ、其、反、應、ハ、亞、兒、加
 里、性、ニ、多、シ、テ、一、リ、ト、ル、中、含、有、ス、ル、少、量、鐵、痕、跡、礬、土、痕、跡、
 格、魯、兒、多、量、硫、酸、多、量、燐、酸、痕、跡、安、諾、尼、亞、微、量、那、篤、倫、著、明、加
 加、爾、基、多、量、麻、痺、性、亞、痕、跡、安、諾、尼、亞、微、量、那、篤、倫、著、明、加
 里、著、明、固、形、分、慢、性、痲、質、私、疥、癬、等、ヲ、治、ス、ト、云、天、保、十、一
 合、計、〇、七、四、瓦、慢、性、痲、質、私、疥、癬、等、ヲ、治、ス、ト、云、天、保、十、一
 年、始、テ、浴、場、ヲ、構、フ、又、猪、戸、新、湯、アリ、近、年、ノ、開、掘、ニ、係、ル、温
 度、百、十、三、度、治、効、同、上、浴、客、一、年、凡、一、千、二、百、人、
 出、來、湯、増同村西ニ在リ、猪戸湯ヲ温度百廿二度、泉質硫

○寛永中始テ湧出ス故ニ出来湯ノ稱アリ槽四ツアリ刀傷損傷閃朒ニ妙ナリ又其傍ニ新湯アリ槽温度百廿度○湧量殊ニ多シ眼疾ヲ治ス

和 田温泉 増 玖須美村和田ニアリ數所ニ涌出スレ上湯

野田湯ノ二泉ヲ最トス共ニ温度百十三度泉質鹽類泉ニ

無味ニシテ少ク硫化水素臭アリ其反應ハ弱亞兒加里性

ニシテ一リトトル中含スル所ノ各成分及其量ハ「硫化

水素」痕跡格魯兒最多量硫酸多量矽酸少量鐵痕跡那篤倫著明

量加里著明固形分 ○槽五アリ打傷痔漏諸瘡及婦人瘀血疼

合計一五六瓦 槽五アリ打傷痔漏諸瘡及婦人瘀血疼

ヲ爲スヲ治ス一槽ハ微温ニシテ眼疾ヲ治ス 増 慶長三年

始テ浴場ヲ構フト云慶安三年此泉ヲ江戸城ニ獻セリ浴

客一年凡一百廿人

湯 田温泉 ○又穴湯ト呼フ 舊湯池 岡村崖下ニ湧ク微温ナ

ルヲ以テ浴スル者希也 此邊温泉多ク湧出スルヲ以テ修

ミ此泉ニ蛇多ク聚ル又泥鱗ニ鰕 村婦衣服ヲ浣スルノ

鰕鱗等泉中ニ游泳スルヲ見ル 鰕鱗ニ鰕

熱 川温泉 増 奈良本村瀬海ノ溪上ニ湧出ス 熱川或泉源ニ

温度共ニ百〇八度 晴雨ニヨリ高低アリ少ク泉質鹽類泉ニ屬

ナリ其反應ハ弱酸性ニシテ一リトトル中固形分一、二一

四瓦ヲ含有ス其各成分及量ハ「重炭酸」少量格魯兒

最多量硫酸少量矽酸少量鐵痕跡加爾基少量麻偶 〇地

尖亞少量硫酸少量矽酸少量鐵痕跡加爾基少量麻偶 〇地

僻ナルヲ以テ浴スル者希也 風眼、暴赤、治、眶、紅、爛、ヲ治ス 増

浴客一年凡三百六十人

大 瀧温泉 増 梨本村大洞ニ在リ此地山中幽谷ニ僻在セル

ヲ以テ浴者極テ稀ナリ 〇往年泉ヲ引キ池ヲ作セルト雖僻

冷泉、礬石ノ氣甚シ此邊景色絶佳ナリ

增訂九州志稿卷之六

湯野温泉 (増) 湯野村川津川ノ北涯ニ湧出ス温度百廿四度

泉質鹽類ニ屬シ無色透明無臭味ナリ其反應ハ亞
加里性ニシテ一リトル中固形分一、二八瓦ヲ含ハス其
各成分及量ハ「重炭酸」少シ量「硫酸」少シ量「鐵」
少シ量「錳」少シ量「錳」少シ量「錳」少シ量「錳」少
量「錳」少シ量「錳」少シ量「錳」少シ量「錳」少シ量
少シ量「錳」少シ量「錳」少シ量「錳」少シ量「錳」少
量「錳」少シ量「錳」少シ量「錳」少シ量「錳」少シ量
ナス者一崖下槽アリテ之ヲ盛ル上衝頭風、癢聚、ヲ治ス

小鍋温泉 (増) 小鍋村小鍋川ノ南涯ニ湧出ス温度百〇九度

泉質鹽類ニ屬シ無色透明無臭味ニシテ少シク浮游
物アリ其反應ハ弱ニシテ加里性ニシテ一リトル中固形
分一、五五瓦ヲ含ハス其成分及量ハ「重炭酸」少シ量
多シ量「硫酸」少シ量「錳」少シ量「錳」少シ量「錳」
少シ量「錳」少シ量「錳」少シ量「錳」少シ量「錳」少
量「錳」少シ量「錳」少シ量「錳」少シ量「錳」少シ量
著明ニシテ「硫黄」○泉頗濁ル疥癬、諸瘡脚氣、歐傷、久痢、不食等ヲ
治ス (増) 浴客一年凡九百五十人

緑温泉 (増) 峰村ニ在リ泉緑色ヲ帯ルニ因テ名ク往昔ハ浴

客アリシモ今ハ村人澡浴スルノミカ近年、淡水ヲ混出スル
ニハ則汚水ヲ汲去ル證羊集ニ證智禪師
到伊南河津浴田温湯トアル是レナリ

立岩温泉 (増) 谷津村山間ノ溪畔ニ湧出ス温度百四十度

泉質鹽類ニ屬シ無色透明無臭味ナリ其反應ハ亞
加里性ニシテ一リトル中固形分一、〇七瓦ヲ含ハス其
各成分及量ハ「重炭酸」少シ量「硫酸」少シ量「錳」
少シ量「錳」少シ量「錳」少シ量「錳」少シ量「錳」少
量「錳」少シ量「錳」少シ量「錳」少シ量「錳」少シ量
酸痕跡及量ハ「重炭酸」少シ量「硫酸」少シ量「錳」
少シ量「錳」少シ量「錳」少シ量「錳」少シ量「錳」少
倫著○槽一眼疾、手足皸裂ニ妙也 (増) 浴客一年凡一千三百
人

石田温泉 (増) 立岩温泉ノ東數十歩ニ在リ温度百三十六

泉質鹽類ニ屬シ無色透明無臭味ニシテ固形分一、〇
八瓦ヲ含ハス其成分及量ハ「重炭酸」少シ量「硫酸」
少シ量「錳」少シ量「錳」少シ量「錳」少シ量「錳」少
量「錳」少シ量「錳」少シ量「錳」少シ量「錳」少シ量
亞加里性ニシテ「疥癬、微毒、中風、ニ効アリト云明治九年始テ
著明ニシテ「疥癬、微毒、中風、ニ効アリト云明治九年始テ
客舎ヲ構フ浴客一年凡八百人

增訂九州志稿卷之六

温泉

四十一

○此外敷所ニ湧出スレヒ空ク漫流シ去ル

北湯野温泉 増北湯野村赤土畑、溪畔ニ湧出ス温度百〇七

度泉質純泉ニ屬シ無色透明無臭無味ナリ其反應ハ亞

其各成分及量ハ格魯兒少量、硫酸少量、亞硝酸以上、硝酸

少量、燐酸少量、矽酸少量、鐵痕跡、礬土少量、加爾基少量、

濕失亞痕跡、安謨尼亞痕跡、隣陳ニ在ルヲ以テ來浴スル者極

跡、那篤倫著明、加里著明、隣陳ニ在ルヲ以テ來浴スル者極

テ稀ナリ ○瘡疥、濕瘡、ヲ治ス 効又眼病ト云ニ

○又滑川水涯ニ小石ヲ環ラシ泉ヲ貯ル者一所アリ

横川温泉 増横川村湯野田、溪畔ニ在リ温泉百〇六度泉質

泉ニ屬シ無色透明無臭無味ナリ其反應ハ弱亞兒加里性

ニシテ一リトル中固形分〇、四〇瓦ヲ含有ス各成分

及其量ハ「重炭酸」多量、格魯兒少量、硫酸少量、亞硝酸

跡、矽酸少量、鐵痕跡、加爾基少量、礬土少量、亞硝酸

著明、加里 ○溝洫ノ餘水滲漏スルニ因テ微温ナリ農氏以テ

手脚ヲ洗フ治効略北湯野温泉ニ同シ

河内温泉 増河内村下湯原ニ在リ温度百廿度泉質鹽類泉

透明無臭無味ニシテ含有スル其反應ハ弱亞兒加里性ニ

シテ一リトル中固形分〇、四〇瓦ヲ含有ス各成分

炭酸鹽少量、格魯兒少量、硫酸少量、亞硝酸

量、矽酸少量、鐵痕跡、加爾基少量、礬土少量、亞硝酸

四、那篤倫著明、加里著明、眼病、皮膚病ニ効アリト云此泉久

固形分合計〇、八四瓦 眼病、皮膚病ニ効アリト云此泉久

ノ中絶セシヲ天保九年再發掘シテ浴場ヲ構フ浴客一年

凡一千百人

角粟温泉 増同村ニ在リ温度百十度、打撲、刀傷、疝氣、子宮病、

等ヲ治スト云明治十八年ノ開掘ニ係ル

藤原温泉 増蓮臺寺村下藤原ニ在リ温度百廿度泉質鹽類泉

シ無色透明無臭無味ナリ其反應ハ極弱亞兒加里性ニ

テ一リトル中固形分〇、四〇瓦ヲ含有ス各成分及量

ハ「格魯兒」多量、硫酸少量、亞硝酸少量、燐酸少量、

浴スル者少ナラス疥癬、下疳、微毒、打撲、傷損、ニ効アリ
○寛永三年始テ浴場ヲ構フ浴客一年凡一千八百人

上條温泉 ○一名湯回温泉、藤原温泉ノ西方二町許ニ在リ

泉質治効略同之殊ニ結毒ニ宜シト云

藥師温泉 ○同村上條、藥師堂前ニ在リ來浴スル者稀也但

眼疾ノ者眼ヲ洗フ又相近キニ泉穴アリ

○又同村藤原ノ耕地數ヶ所ニ湧ク

赤間温泉 下田町武濱ニ在リ
○柿崎村武峰

度 ○湧量少ク微温ナルヲ以テ燂シテ浴ス疥癬ヲ治スト

大湯 下賀茂村青野川ノ水涯ニ湧出ス温度百四十八度

泉質類泉ニ屬シ無色透明無臭ニシテ鹹味アリ其反應

含有ス其成分及量ハ重炭酸鹽少量格魯兒最多量
硫酸鹽、硝酸鹽、矽酸鹽、鐵多量、加爾基最多量、麻、濕
那、亞倫、著明、加里、著明、疥癬ニ効アリ浴客一年凡三百六

十人

正湯 同村山麓ノ田畔ニ在リ温度九十度泉質ハ無色透

五、八、其反應ハ弱亞兒加里性ニシテ一トル中固形分

至八、硝酸鹽少量、亞兒加里性、鐵多量、加爾基、亞、

二同シ浴客一年凡一百人

○此邊溪傍隨處ニ温泉湧出シ又耕田數尺ノ下處トシテ

泉脈アラサルハナシ大湯ノ外ハ皆微温ナリ治効大抵相

似タリ但修治シテ浴ニ供スル事ヲ爲サス

加納温泉 加納村岩崎ニ在リ諸瘡ヲ治スト云○槽ニ

道部温泉 増道部村瀕海ノ河畔ニ在リ温度六十八度浴ニ

堪ヘズ満潮及洪雨ノ際ハ河水泉ヲ浸ス

湯瀬温泉 増那賀郡大澤村溪畔ニ湧出ス温度一百〇三度

泉質鹽類ニ屬シ無色透明臭無味ナリ其反應ハ亞兒

加里性ニシテ一リトル中固形分一〇〇瓦ヲ含有ス

其各成分及量ハ格魯兒少量硫酸多量硝酸痕跡少量

礬土痕跡加爾基最多量麻偶混失亞痕跡安謨尼亞痕跡那

加里微微量 〇槽ニアリ明和ノ初開掘ス刀傷、蹉跌、破傷風、眼

疾、等ニ効アリ來浴スル者希也 増浴客一年凡一百五十人

〇其他君澤郡土肥村屋形、外ニ田方郡桑原村湯山、賀茂郡上

白岩村小川、増山田、湯ト稱ス以テ之ヲ燂ス 梨本村萩乘年

槽ヲ造ルト雖微温ナル那賀郡大澤里村禰宜、畑、等ニ湧出ス

増又賀茂郡瀕村上川原ニテ近年温泉ヲ發掘ス 明治十七年

見ストシテ發也

瀑布

大瀑 増君澤郡同之下徳倉村寺門ニ在リ故ニ亦寺門瀑ト稱

ス深シ甚 〇高十丈幅五間、二級ニ飛下ス是、賀茂川ノ上流

ナリ

矢野坂瀑 増佐野村ニ在リ高三丈幅五間、亦賀茂川ノ上流

ニ屬ス 兩岸岩壁ニシ 〇一名梁坂瀑

雄瀑 増同村龍入ニ在リ 〇又其南方ニ小瀑布アリ雌瀑ト

稱ス

龍川瀑 〇川原、谷村山田ニ在リ 其傍ニ龍川

天狗瀑 〇市山新田ノ北ニ在リ 傍ノ古松ヲ天

松尾瀑 〇三ッ谷新田ノ北ニ在リ

觀音瀑 〇山中新田ノ南觀音峰ヨリ奔流ス

大瀑

○長瀬村本洞山ニ在リ高五丈幅六尺

平素ハ水量少ク降雨ニ會ス

暴漲ス

紙谷瀑

○上修善寺村紙谷ノ路傍ニ在リ高三丈幅四間

傍ニ不動佛ヲ祀ル故ニ不動瀑トモ呼フ近年樹木ヲ伐採

シテ大ニ風致ヲ喪フ

白絲瀑

○同村桂川修善寺門前ニ至リ激瀉散亂宛モ絲ノ

如シ故ニ白絲瀑ノ稱アリ近世磐岩ヲ破碎シテ大ニ美觀

ヲ減ス

大瀑

○河内村山中ニ在リ高十丈廣半之増其傍ニ不動堂

アリ又同所ニ小龍アリ高三丈許

不動瀑

○増一名大龍立保村龍澤ニ在リ高三丈

不動瀑

○井田村海岸ニ在リ高三十許丈ト雖殊ニ奇觀ナ

冷川瀑

○田方郡以下桑原村山中十町許ニ在リ○高三丈

下ニ不動ヲ祀ル石像ニシテ文又小屋澤瀑ハ同村山中ノ

小流也

淵瀑

○田代村龍川ノ下流ニ在リ高三丈餘瀑潭甚深キヲ

以テ名ク今記テ呼フ

瀧山瀑

○韭山町瀧山々中ニ在リ岩頭ヨリ直下スル五丈

許○其下ニ不動佛ヲ祀ル傍ノ石窟高丈餘ノ巨

旭瀑

○増一名白瀑大平村ニ在リ源ヲ池洞ニ發シ瀧山ノ中

間ヨリ飛下ス○高廿餘丈宛モ千尺ノ素練碧岩ニ懸ルニ

似タリ増兩岸雜樹鬱蒼頗風致ヲ添フ行人顧テ感賞セサ

ルハナシ

題目瀑 ○吉奈村新田ニ在リ高三丈許、水崖ノ石ニ題目ヲ

刻ス故ニ名ク

三階瀑 增一名淨蓮瀑、湯ヶ島村山中ニ在リテ三層ニ飛下ス

○上高五丈、中七丈、下二十丈、增幅各一丈八尺許、極テ壯觀

ナリ ○或ハ以テ州中第一トス、是狩野川ノ水源ナリ

千早瀑 增賀茂郡同之下、徳永村北山中ニ在リ、高五丈

洞山瀑 ○地藏堂村南八町許ニ在リ、高三丈餘、裏面佳趣ヲ

ルヲ以テ裏見瀑ト稱ス、增大見川ノ水源ニ屬ス、又此上流

根越瀑 增赤澤村根越ノ海岸ニ在リ、高七丈

水垂瀑 增大川村海岸ニ在リ、高十二丈、幅二間

白娑多瀑 增白田村西山中ニ在リ、高六丈

湯澤瀑 增谷津村ノ西北ニ在リ、高拾貳丈、幅六尺

猿田瀑 增川津筏場村筏場ニ在リ ○石崖ヨリ奔下ス、高三

丈餘、下ニ猿田彦命ヲ祀ル故ニ名ク

陣幕瀑 ○梨本村屬里奥原ノ山中、天城川ノ上流ニ在ル、三

瀑布ヲ稱ス、初景瀑、高六丈、幅一間、○方言瀧ヲハ天城山

路ヲ南下シテ先觀ルヲ云、最初ノ景ノ義ナリヤ、釜瀑、高

三丈、幅ハ瀑潭釜ニ似タルニ因テ名ク、大瀑、高九丈、ハ最大

砥石瀑 ○大澤村砥石ニ在リ、高五六丈

龍山瀑 ○中村ニ在リ、二峰對峙シ、其中間ヨリ迸下ス、遠望

ニ宜シ

龍、秋間瀑 ○一條村ニ在リ

山神瀑 ○毛倉野村奥條山ニ在リ高三丈餘

小澤瀑 ○岩地村ニ在リ小流ナリ

瀧山瀑 ○南郷村ニ在リ又小瀧アリ幽境愛ス可シ

辨天瀑 増明伏村山中ニ在リ高三丈

三階瀑 ○那賀郡同以下宇久須村御嶽山ニ在リ中階高五丈

上下階各可ニ丈頗佳景ナリ

萩山瀑 ○同村ニ在リ水勢微ナレ氏四時絶エス傍ニ不動ヲ祀ル

大瀑 ○安良里村大谷山中ニ在リ増今神洞瀑ト稱ス高十

九丈幅一間○大川ノ上流ナリ

兵太瀑 ○大澤里村大城ノ右方ニ在リ三級ニ飛下スルヲ

以テ三階瀑氏稱ス傳云往時兵太ト云者瀑潭ニ墮テ死ス

接潭ニ巨蟹 増高拾五丈八尺幅四間

○門野一色兩村ノ間ニ瀑布數多アレ氏深谷ニシテ觀難
キヲ以テ之ヲ略ス

高子瀑 ○池代村山中ニ在リ増高八丈四尺幅一間那賀川

ニ入ル

○其他賀茂郡上白岩管引上多賀不動宇佐美外浦富戸大鍋小

杉原諸村那賀郡田子村等ニ小瀑布アリ皆不動瀑ト稱ス高

概ニ三丈ニ過キス

伊豆海 本州ハ駿相ノ間ヨリ海中ニ斗出シテ半島ヲ爲シ東南西ノ三面海ヲ繞ラス之ヲ伊豆海ト總稱ス東ハ房總ノ諸山ヲ水天髣髴ノ間ニ望ミ西ハ駿遠ノ連峰ヲ杳靄ノ外ニ眺ム南則滄溟万里浮天涯ナク隸屬ノ諸島怒濤ノ中ニ點在ス海邊到處風光ヲ備ヘサルハナシ○内浦ハ君澤郡重寺村ヨリ江梨村ニ至ル灣内ヲ云連群山灣ヲ環テ繼ナリ北涯ニ淡島元立シ西端ニ大瀬崎突出シ正面ニ富岳ヲ仰ク眺望佳也○其東北方ハ駿州口野ヨリ香貫ニ至ル諸村ノ山西浦ハ井田村ヨリ賀茂郡伊濱村邊迄ヲ云南浦ハ子浦村邊ヨリ白濱村邊ニ至ル間ヲ云際ノ大洋ニ面スルヲ以テ東浦ハ稻取村邊ヨリ熱海村邊迄ヲ云以上極テ激浪ナリ

伊豆海 本州ハ駿相ノ間ヨリ海中ニ斗出シテ半島ヲ爲シ東南西ノ三面海ヲ繞ラス之ヲ伊豆海ト總稱ス東ハ房總ノ諸山ヲ水天髣髴ノ間ニ望ミ西ハ駿遠ノ連峰ヲ杳靄ノ外ニ眺ム南則滄溟万里浮天涯ナク隸屬ノ諸島怒濤ノ中ニ點在ス海邊到處風光ヲ備ヘサルハナシ○内浦ハ君澤郡重寺村ヨリ江梨村ニ至ル灣内ヲ云連群山灣ヲ環テ繼ナリ北涯ニ淡島元立シ西端ニ大瀬崎突出シ正面ニ富岳ヲ仰ク眺望佳也○其東北方ハ駿州口野ヨリ香貫ニ至ル諸村ノ山西浦ハ井田村ヨリ賀茂郡伊濱村邊迄ヲ云南浦ハ子浦村邊ヨリ白濱村邊ニ至ル間ヲ云際ノ大洋ニ面スルヲ以テ東浦ハ稻取村邊ヨリ熱海村邊迄ヲ云以上極テ激浪ナリ

鳥崎、川奈村、川奈崎等ハ極テ激浪ニシテ航海者尤畏ル所也

○萬葉集ニ 伊豆乃宇美多津思良奈美能安里都追毛都藝奈牟毛能乎

美太禮志木梅揚

〔增〕鎌倉右大臣家集ニ

箱根路ヲ我越來レハ伊豆海ヤ沖ノ小島ニ波ノ寄ル見ユ

○夫木集ニ 正應五年三島社十首ノ歌 爲道朝臣

伊豆ノ海ヤ沖津波路ノ朝風ニ遠島消エテ立ツカスミ哉

歌枕名寄ニ 中務卿親王

伊豆ノ海波路ハルカニ霧晴レテ島々見ユル秋ノ夜ノ月

北國紀行ニ 五月ノ末伊豆ノ海ヨリ重ナレル山漫々トシ

テ富士ノ空迄モヒトツ海ノヤウニ見エ侍リ此頃漸ク夕立ノケシキナリ 堯惠法師

重ナレル雲分ケカ、ル伊豆ノ海ノ山ヨリ浮フ夕立ノ空

伊豆山奉納二十首ノ中ニ 海路、雲 宗長法師

菅根山明ケヌト船ノイツノ海横雲カケテ漕キ渡ル見ユ

三島、沖 〔增〕三島ハ往古本州屬島ヲ總稱スト云 郡郷部 西行

法師ノ歌ニ

我戀ハ三島、沖ニ漕キ出テ、ナホソワツラフ海人ノ釣舟

三津港

三津港 增君澤郡同以下三津村ニ在リ港口西北ニ向フ○澗

二十餘歩深三仞ヨリ五仞ニ至ル廻船廿艘ヲ容ル可シ是

レ往昔ハ本州三津ノ一ナルヲ以テ三津ノ稱アリ○此地

内浦灣ノ咽喉ニ位スト雖海底淺ク且西南風ニ宜シカラ

サルヲ以テ船舶ノ碇泊ニ便ナラス而テ往昔本州三津ノ

一ト稱セシハ田方邊ノ産物率本港ヨリ輸出シタルヲ以

テ也

戸田港 增戸田村ニ屬ス灣口西北ニ向フ○御濱崎南ヨリ

北ニ斗出スル四百廿歩其口ヲ扼ス灣内廣濶ニシテ長七

百廿歩、廣三百歩、深三十四五尋ヨリ四十尋ニ至ル其泊船

ニ宜キ者三處、大浦、内匠、前濱、等ナリ

碇泊所ノ深、大浦ハ六尺ヨリ八九尺ニ至リ

内匠前廣ハ六尋ヨリ十八九尋ニ至ル
 灣内東西十二町南北十二町
 四尺満潮廻船凡四百餘艘ヲ泊ス
 但少ク西ト廻船凡四百餘艘ヲ泊ス
 風ヲ怖ル
 增安政元年十一月本州下田港碇泊ノ魯國軍艦トフレガアツ
 ナ海甯ノ爲ニ艦底ヲ破壊シ戸田港ニ於テ之ヲ修理セン
 トシテ廻航ノ際又暴風ニ遇ヒ駿州宮島沖ニ至テ竟ニ沈
 没セリ乗船者五百餘名ハ救船於レ是魯人戸田ニ留リスク
 一ネル船ヲ造ル二年五月魯ノ水師提督エヒフミ一ブ一チ
 ヤチン等スク一ネル船ニ乘リ歸國ス其他ノ船員ハ同年
 國商船ニ乗テ歸國ス三年十月魯人下田ニ來リ滞留中ノチ
 恩ヲ謝ス大砲五十二門ヲ添テ幕府ニ獻シ戸田港留中ノチ
 ヤチン戸田明治廿五年五月其父竊寓ノチヤチン尋子廿三年十月其
 死ニ臨ミ遺言シテ魯貨一ムトル云
 魯人氏ニ贈ラシムトル云

○其他八木澤村ノ灣内ハ廣七十歩許ニシテ小船四五艘
 ヲ容ル可ク重須、久連、平澤、立保、古守、足保、久料、江梨、土肥、諸村
 ハ概四五艘ヲ繫ク可シ
 網代港 增賀茂郡以下網代村ニ在リ灣口東北ニ向フ○東
 西三百歩南北四百廿歩、深ハ八九尋ヨリ十六尋ニ至ル
 統計ニ曰東西五町南北十町、碇泊所ノ船船百餘艘ヲ泊ス
 深退潮一百四尺、満潮一百十二尺ト
 可シ西北風ニ宜シカラス
 小網代港 ○川奈村ニ在リ南北百廿歩、深ハ五六尋、網代港ニ
 似テ狭小ナルヲ以テ名ク泊船其半ニ及ハス北風ニ宜シ
 カラス又同村ニ玉木港 深五尋廻船六七小浦濱廣五歩、長
 二等アリ
 稻取港 增稻取村ニ在リ港口東北ニ向フ○長二百四十歩

廣三百步、深三四尋ヨリ十二尋ニ至ル廻船二百餘艘ヲ容ル可シ東北風、猛烈ナルヲ以テ船舶敢テ久ク留マラス勿々纜ヲ解テ去ル故ニ呼テ蛇口港トモ云

外浦港 増柿崎村ニ屬ス港口東南ニ向フ東西三町南北九町、深五尋ヨリ十二尋ニ至ル西南風ニ宜シ○山低ク風烈シ

須崎港 増須崎村ニ在リ灣口南ニ向フ東西五町南北二町深三尋ヨリ五尋ニ至ル○廻船三十艘ヲ容ル可シ東北風ニ宜シカラス此海邊激浪ニシテ暗礁多シ

下田港 増下田町ニ在リ東西十八町南北三十町、灣口東南ニ向フ○須崎其東ニ斗出シ狼烟崎其南ヲ遮リ兩岬相距

ル十八町此内大船千艘ヲ泊ス八風皆避ク可シ灣内深十八尋ヨリ三十餘尋ニ至ル湖汐連迅四尺餘其東北稻生澤ノ河口

ニ防波堤アリ高二丈長三百九十步以テ海溢ヲ防ク是正保二年今村正長俸ヲ捐テ、築造スル所也

増下田ハ東海樞要ノ一良港ニシテ大小ノ船舶常ニ輻湊シ近年東京清水沼津等ヨリ瀛船來復ス頗繁盛ノ地也○志州鳥羽ヨリ船路

七十五里其間投錨ノ處ナキヲ以テ皆此港ニ泊セサルヲ得ス又駿遠參尾諸州ヨリ東國ニ往來ノ船舶亦寄港ス如

此海路要喉ノ地ナルヲ以テ元和元年幕府今村正長ニ騎士十口歩卒五十口ヲ附シテ此地ヲ守衛セシム又寛永十

一年二月須崎ニ水關ヲ置キ往來ノ船舶ヲ檢察ス十三年十一月下田大浦ニ移シ享保五年十一月相州浦賀ニ轉ス

増安政初年幕府米魯等ノ國ト假條約ヲ結ヒ本港ヲ互市場ト爲シ外國貿易ノ端緒ヲ開ク尋テ六年外邦此地互市

武州横濱ニ轉ス

雜事部町村ニ詳悉ス

大浦港 ○同町ノ南五町許ニ在リ廣百八十歩、長三百歩、深

八尋ヨリ十二尋ニ至ル廻船三十艘ヲ容ル可シ東南風ニ

宜シカラス又和歌浦ハ同町鶴島山下ニ在リ小船六七艘

ヲ繫ク可シ

手石港 ○湊、手石、兩村ノ間ニ在リ南ハ辨天島ヨリ東北身

高山下ニ至ル二百歩之ヲ懸口ト爲ス是ヨリ岸ニ至ル七

十三歩深、廿餘尋運船廿艘ヲ容ル可シ

○往古ハ手石河口ヨリ北方廿餘町東西十數町ノ間海灣

ニシテ鯉名、大港ト稱シ大船千艘ヲ泊シタリト云東鑑ニ

鯉名、泊、鯉名、奥トアル是也曰、治承四年十月十九日伊東次郎祐親法師爲屬小松羽林淳、於伊豆國鯉名、泊、擬廻海上云々ト又曰、元曆二年三月十二日爲征討平氏兵船三十二艘日來浮于伊豆國鯉名、奥并妻

長津被納兵糧米云々ト即往昔本州三津ノ一ナリ陵谷變遷今ハ數十

頃ノ耕田トナルト雖尚壘畝ノ間舊形粗見ル可シ又手石

村南ニ鯉名ノ地名存シ東涯ニ湊ノ村稱ヲ留ム

小稻港 ○手石村ノ西南ニ在リ僅ニ小船數艘ヲ入ル可シ

長津呂港 ○長津呂村ニ屬ス灣口東南ニ向フ○兩岸石壁

對峙シ其間長四百四十歩廣三十歩、狹長帶ノ如クナルヲ

以テ長津ノ稱アリ深四五尋ヨリ十三四尋ニ至ル日本

要ニ曰東西壹町南廻船八十餘艘ヲ容ル四方ノ風皆避ク

北六町深十三尋ト廻船八十餘艘ヲ容ル四方ノ風皆避ク

可シ但辰巳風ニ宜シカラス

中木港 ○入間村屬里中木ニ在リ○長九十歩廣六十歩深、

八九尋、小船三十餘艘ヲ泊ス可シ東風ノ外皆宜シカラス

灣口ニ大根嶼アリテ激浪ヲ遮ル

妻浦港

増妻浦村ニ在リ西北ニ向フ○子浦港ト灣ヲ隔テ、相對シ地亦連ル東西九百步南北四百廿步深十五尋許、日本地誌提要ニ曰東西八町南北四町深五尋餘 艀船六十艘ヲ泊ス可シ西風ニ宜シカラス増東鑑ニ妻良津其文前記 大平記ニ女良湊トアル是也

子浦港

増松下港トモ呼フ子浦村ニ在リ港口西南ニ向フ○東西百五十步南北四百廿步深四尋許、日本地誌提要ニ曰東西三町南北三町深五仞餘ト運船三十艘ヲ容ル可シ東南風ニ宜シカラス此港往昔ハ本州三津ノ一ニシテ巨船四五艘ヲ泊シタリト云近世山崩ニテ砂石海ヲ湮メ港内狹隘トナレリ増往昔此地ニ燈明臺ヲ置キタリシモ今廢ス 岩地港増岩地村ニ在リ○東西四百八十步南北六百步深

松崎港

九尋許小船廿艘ヲ容ル可シ西南風ニ宜シカラス増松崎村ニ屬ス港口西北ニ向フ東西一町南北四十間深二仞ヨリ四仞ニ至ル大船ノ碇泊ニ便ナラス北條五代記曰ク延徳年中北條早雲駿洲清水浦ヨリ大船十艘ニ五百人取乗セテ出帆シ伊豆國松崎西奈多子あられの湊ニ着岸スト

安良里港

増那賀郡以下安良里村ニ在リ港口西北ニ向フ東西三町南北十二町深十仞許○大磯山北ニ突出シテ其口ヲ遮ル灣内運船凡二百艘ヲ容ル四方ノ風皆避ク可シ

井田子港 増田子村屬里井田子ニ在リ西北ニ向フ○長三百步廣百八十步深三十尋町南計ニ曰ク廣東西六湖五十六尺ト滿運船三四百艘泊ス可シ西北風ニ宜シカラス増海中ニ田子嶼嶼等ノ奇觀アリ正面海ヲ隔テ、富岳ヲ仰ク風光頗佳ナリ土人云山部赤人詠スル所ノ田子浦ハ此地ナリト是レ牽強信スルニ足ラス

○其他宇久須、濱、江奈、三村ハ小船五六艘ヲ繫ク可シ

增訂豆州志稿卷之六終

明治二十八年 月十日印刷
同 年 月十五日發行

著 者

故人號富南 秋 山 章

著 者

靜岡縣平民 萩 原 正 夫
伊豆國君澤郡中郷村大字安久

印 行 者

靜岡縣平民 小 西 又 三 郎
東京市京橋區銀座四丁目七番地寄留

販 賣 所

小 西 豐 造
東京市京橋區銀座四丁目七番地

販 賣 所

塚 屋 嘉 十 郎
伊豆國三島町市ヶ原六百七十三番地

印刷所 東京市麹町區飯田町五丁目二十六番地近藤活版所



